



同窓会報



◆ 発 行 ◆ 宮城県仙台第二高等学校同窓会 仙台市青葉区川内澁橋通1 ☎ 221-5651(直通)
 ◆ Eメール ◆ qqnt4329@wonder.ocn.ne.jp
 ◆ 印 刷 ◆ 創文印刷出版株式会社 仙台市青葉区春日町8番34号 ☎ 222-0181

第 47 号



歴史的な大逆転の勝利に酔うファイヤーストーム(平成26年5月10日(土) 於:二高校庭)

目次

巻頭言.....	2
支部・同期会報告、近況報告、寄稿等.....	2
創立記念講演会、寄贈本、寄付.....	14
支部OB会連絡先.....	15
評議員会・理事会・イベント報告.....	17
P.T同懇案内、26年度同窓会総会案内.....	19
会費納入口座のお知らせ、会費納入状況.....	20
【一般会計】25年度決算報告.....	21
【特別会計】25年度決算報告.....	21
理事会より.....	22
25年度卒業式・同窓会入会式、26年度入学式.....	23
定期戦.....	23
過去三年間の大学入試合格状況.....	24
部活動の成果.....	25
計報.....	31
25年度教職員人事異動、メーリングリストの利用について、 交通の便、編集後記.....	32

巻頭言

「先哲の教え」

同窓会長

大井 龍司 (高10回)



私は母校の入学式の祝辞の中で
 かならず述べる文句がある。それは
 「皆さんは困難なハードルを乗り
 越えた高い能力の持ち主であり、
 将来国のエリートになる資質を
 持ち合わせている。しかしまだ
 その予備軍の一人でしかなく、自
 己自身をより成長させなければな
 らない。そのためには、できるだ
 けうぬぼれを取り去り、勉強のみ
 ならず心身ともに資質の練磨が不
 可欠、仙台二高はそのための学園
 である」と。これは講堂の半席以
 上を占めている保護者の皆さんに
 聞いてもらうことを意識しての挨拶
 でもある。将来のわが国のエ
 リート予備軍である後進達が目指
 すべき理想的な世の中を考える
 時、いまわが国の世情目を向け
 ると、あまりにもその反面事象が
 はびこっていることに愕然とし、
 古人賢者の戒めを振り返ってみる
 必要性を痛感するのである。

それは小学五年生の時と記憶している。担任の教師が「今日は皆さんの尊敬する人の名を挙げてもらいましょう」と云うことになった。クラスの仲間達は「両親」ほか、いろいろな人達の名前を挙げたが、私の答えは「インド独立の父、マハトマ・ガンジー」であった。私はその頃、良く英雄豪傑伝、偉人伝を読み親しんでいたが、偶々ガンジーの「人もしなんじの右の頬を打たば、左をも向けよ」という信条に触れた時の感動が幼心をそうさせたのであった。当時の私は瘦せていて色が黒かったこともあり、それ以来友人達からは「ガンジー」との有難いあだ名を頂戴した。私の書架にあったガンジー自伝を今紐解いてみても、大変示唆に富む文句に多々触れることができ、改めて「ガンジーこそまさに聖賢の一人である」と畏敬の念を更に深くするのである。例えば「善をもって悪に報いよ」「体育も教育課程のなかで知育同様の地位を持つべきである(幼少時期のガンジーは身体が弱く消極的であった)」「真の知識は良い教師なくしては掴みえない」「社会運動には真実と愛、非暴力から生まれる力が必要」等々である。

前書きで紙面の過半をついやし
 てしまったが、最近ある新聞の寄
 稿欄に私の目は釘付けになった。
 それはガンジーが提唱した国家に
 とっての「七つの罪」である。ガ
 ンジー曰く、国家にとっての七つ
 の罪とは「理念なき政治、労働な
 き富、良心なき快楽、人格なき学
 識、道徳なき商業、人間性なき科
 学、献身なき信仰」。なんと、逐
 一いまの世の中に問いかけてみた
 くなる至言が列記されているでは
 ないか。

数を驕って民意を無視し続ける
 良識なき政治。懲りもせず繰り返
 される政治と金の問題。汗をかか
 ずに金儲けをとの風潮。ただ面白
 ければ良いという低俗番組を流し
 続けるマスメディア。研究発表の
 不正問題や代理作曲事件。脱税や
 産地偽装など相次ぐ企業の不祥事
 等々。ガンジーが提唱する七つの
 罪に該当する事例には枚挙にいと
 まが無く、今や国家の将来が危ぶ
 まれる所以である。身を捨てて国
 を想う「真のエリート」出でよの

思いがつのる昨今である。
 結論は「一国の消長は青年の双
 肩にあり、その青年を正しく教育
 することこそが国家を治める捷徑
 である」である。とりわけ母校仙
 台二高に於いては、単に大学進学
 のための教育だけに終始すること
 なく、心身ともに「先哲に依って
 道を学ぶ」こと、つまり全人教育
 を徹底し、そこで学んだ後進達の
 中から将来国家をリードする「真
 のエリート」が輩出することをひ
 たすら願うものである。

支部総会等開催報告

岩手支部

鈴木 恒男 (高5回)

平成二十六年一月二十五日(土)
 に開催された第32回仙台二高同窓
 会岩手支部総会の報告を致しま
 す。当日は本部から渡邊幸雄校長
 先生、柘沢慶悦同窓会副会長御両
 氏の御来臨の栄を受け盛岡メトロ
 ポリタンにて盛大で楽しい会とな
 りました。

まず今年亡くなられた白土統雄
 (高22回)氏に対して黙祷を捧げ、
 会計報告他の議題に入りました。
 その後ご来賓の渡邊校長先生から
 仙台二高の現状を含めてのご挨拶

を頂きましたが、その中で今年
 「優駿二高」の御旗を掲げ進むと
 の力強いお言葉を戴きました。そ
 の他センター試験では東北ナン
 バリーであったこと、その後の四
 月にかけての総合的な成績でもそ
 の事実が証明されており、我々先
 輩として誠に嬉しい限りです。週
 刊朝日とか毎日を胸に抱いて喜ん
 でおります。また一、二高対抗戦
 のライバル対決の一つとしてゴル
 フを紹介されたが上位者十名の成
 績では圧勝であったことなどをお
 話されました。



柘沢副会長からは二十五年八月
 の北陵祭に同窓会のブースを設
 け、OBの絵画、焼物、写真等の
 展示を行ったこと、また同窓会発
 展の一つの方向として、まず岩手、
 秋田、青森各県の合同のいわゆる
 北東北の会を考えたらとの貴重な
 ご示唆を頂きました。
 今回ご出席を頂けなかった本部
 の大井同窓会会長からも丁寧なご

挨拶状を頂いており恐縮しております。

懇親会も例年通り楽しく賑やかに過ぎ去り、凱歌、校歌と共に次の再会を約して散会となりました。出席者の皆様有難うございました。

出席者

- 佐藤秀雄(高1回)、和田謙郎(高3回)
- 鈴木恒男(高5回)、守屋光雄(高9回)
- 小林秀樹(高11回)、池野達郎(高12回)
- 佐藤邦夫(高12回)、千葉 知(高19回)
- 吉江信博(高21回)、相ノ山隆(高22回)
- 根田孝三(高22回)、橋浦礼二郎(高23回)

ニューヨーク支部

且 英夫(高20回)

仙台二高同窓会NY支部の開設を祝う食事を昨夜マンハッタン居酒屋にて行いました。参加者は白田正樹(68年卒)、福永龍美(70年卒)、三浦理寛(93年卒)の三氏と私(68年卒)の四人で、久しぶりの母校の思い出話に会は大いに盛り上がりました。

学校の先生方の授業、クラスの仲間、クラブ活動、対抗戦の応援、校風の移り変わり、広瀬の流れ、澁橋：と話題は尽きることなく、同窓の仲間と多感な青春時代をニューヨークの地で思い起こすことができたのは、本当に楽しいひと時でした。大井会長からの



お祝いのメッセージも皆でありがたく読みました。最後に「雨か嵐か」と校歌を斉唱し、高揚とした雰囲気の中、幕を閉じました。NY支部の存在が生徒たちが海外に目を向ける一助になればと心から思います。

以上簡単ですが報告といたします。

同窓会海外支部開設に関するお願い

昨年はニューヨークに仙台二中・二高同窓会海外支部第一号が開設されました。母校の同窓会に海外支部が存在することは単に同窓会にとってよろこばしいだけではなく、母校の後進たち、とりわけ在学生徒諸君が海外に目を向けるおおきな刺激になるものと思います。

◆ニューヨークで弁護士として活躍されており、二高同窓会のNY支部長でもある且 英夫氏(高20回)が「週刊NY生活」紙に連載している「コラム 米語 Watch」を氏の承認を得て転載します。

なお、同窓会のメーリングリスト nikodousoukai@googlegroups.com (詳しくはp.32)に毎回転載させていただいておりますのでご覧ください。

「米語 Watch」

「Helicopter Parents」

過保護で過干渉な親

先日、ロングアイランドに住むガーナ出身の高校生がアイビーリーグ(Ivy League)の大学八校すべてから合格通知をもたらったことが話題になりました。新聞の取材に「僕の Helicopter Parents のお蔭です」と彼が答

えたので読者はまたびっくり。この言葉は、ヘリコプターが上空から監視するような、子供に過保護な(Over-protective)親を批判する言葉なのです。しかし意外にも、この少年は親がい

つも寄り添って自分を励ましてくれたので頑張れましたと、この言葉に好意的な意味を与えました。心理学者は親の過干渉(Over-interference)は子供の自立(Self-reliance)を阻害し、自信を喪失させると言います。またモンスター・ペアレント(和製英語です)のように、学校に

理不尽なことを要求する親達は、子供にとっても有害な存在でしょう。その一方、この高校生のように親から不断の応援を受けて開花する人もいます。子供の自立を尊重しながらも、必要な支援は与えたい。親心の舵取りはどの社会でも簡単ではありません。(且 英夫 ニューヨーク州弁護士)

四三会

吉田憲三郎(高21回)

新緑が薫り出した今日この頃、恒例の仙台二高・一高硬式野球定期戦を控える爽やかな季節到来です。ここに仙台二高昭和四十三年度卒業・21回生の声を同窓生諸兄にお届け出来ますことを嬉しく思います。

私たち四三会の思い出は、大学受験を主な進路としておりました時期に、あの三億円事件があり、かつまた成績優秀な同輩は東京大入学入試が中止となったことで志望先変更を余儀なくされた学年であります。正直同輩の殆どはその影響は全くないはずではありませんが、後世に言い訳を残して仙台二高を巣立ちました。

私たちの四二〇有余名の三年間はそれぞれであったかとは思いますが、波乱含みの学年の在学中は、主に蒲鉾型の体育館の落慶や、前年度まで実施されていた修学旅行が規模を大幅に縮小して佐渡へ渡ったとか、冒頭の硬式野球定期戦で二勝一分けの負け知らずであったということでしょうか。

卒業後の約半世紀の間に、「厄払いの会」・「西暦二〇〇〇年五十年を祝う会」・「還暦の会」等のイベント的な行事のほかに変則的に一番町の幻の居酒屋「樽」での会合も数回ありました。

理事会としては、同窓会活動を更に海外に広げるために、同窓会海外支部の増設を進めたいと考えています。そこで、海外に定住し現地で活躍している同窓生をご存知の方は、その「お名前(卒業回期)、現職、連絡先現住所(できればメールアドレス)」を

同窓会事務局
tel 022-221-5651

宛お知らせくださいますようお願いいたします。なお、お知らせいただく個人情報、本目的にのみ使用することを約束します。ご協力のほどを何卒よろしくお願いたします。

(理事会)



平成25年12月 忘年会「壱門」

ところが同輩の物故者が目立ち始めたことから「年に何回かは集まろう」との声が出始めたのを機に賛同者が増加し固定拡大化してまいりました。十二月第一土曜日の忘年会はもとより、同期の経営する焼き肉店（塩竈市）とか寿司店（岩沼市）にその集合機会を設け恒例化を目指しています。これからも同期同窓の店は発掘されていくことでしょう。

また、時には単なる飲み会だけでなく文化や歴史、東日本大震災の被災現場に触れようと同期の中から講師も登場するようになりました。

定番の話題と言えば、健康法・孫・老々介護・年金・ゴルフ等の好々爺ぶりですが、そのような話をしていくところに、昨年六月ごろ同窓会常任委員のY君からこの

ような話が飛び出しました。「月二度発行されるコミック誌に、俺たち学校（仙台二高は青葉二高に）がモデルになっている新作が出た。バスケット部でジャズプレーヤーを目指す男子の話なので面白そうだし懐かしそうだから紹介するよ。河原付近の情景は、本当にあのころの広瀬川の河原のままだよ」と。この話に触発されて私も含めて何人かは老年ながら青年コミックの世界にはまり込んでしまったようです。同窓の皆さん是非一度ご覧ください。あの青春時代が今ここに蘇ってくる実感されるはずですよ。

第十八回総会・懇親会

東海北陵会
千葉 善根（高9回）

平成二十五年十一月三十日に、

名古屋市内で第十八回東海北陵会の総会・懇親会が開催された。

渡邊校長先生、同窓会の鈴木副会長、事務局長の奥山先生の三名をお迎えし、高6回〜高32回の皆さん計十八名が参加して、総会・懇親会が開催された。

総会の議題は、決算報告、役員選任、会勢報告などがあり、いずれも原案通り承認された。

更に、渡邊校長先生から挨拶と

結びに今年度のすべての定期戦は仙台二高が頂きましょう。



第18回総会会場

母校の近況報告があり、特に、文部科学省が提唱している Super Global High school 構想に率先して手をあげ、母校を全国区に押しあげたい。その一環として、二十四名の海外研修を実施した。世の中の大学は急速にグローバル化が進んでいるので、それに対応したい等の紹介があった。

更に奥山先生より、パワーポイントを使った詳細な校内活動の紹介があった。参加者全員が数多くのスライドを興味深く見入っていた。

また、「北陵の四季」、「平成二十五年版仙台二高概要」などの資料も全員に配布され、理解を深める事ができた。

鈴木副会長からは、全国一の同窓会を目指して頑張っている。現在、山形県、秋田県に支部がないので、人脈を紹介して欲しい等の挨拶があり、同窓会クッキーを持参したので、食べて欲しいとの事で全員がご馳走になった。

その後、各自テーブルで、仕出し弁当を食べながら和やかな懇談が進められた。

懇談の途中、話題提供として、高15回の菊地さんから「金属の表面処理について」の報告が、VTRの紹介とともになされ、更に、高8回の久保さんから、「これからの人生をポジティブに生きるために皆で考えていこう」との提案がなされた。

懇親会の最後には、元応援団長の工藤さん（高32回）のエルと指揮のもと、全員で「雨か嵐か」校歌を合唱し散会した。

その後、有志による二次会が、近くのスナックで行われた。ここでも、色々な懇談が延々と続き、平成二十五年度の有意義な総会・懇親会を終了した。

東海北陵会の会計幹事を担当している野田さん（高19回）が年度末で勤務先の大学を定年退官される事になり、この度、退任展が名古屋市内の大学のサテライトギャラリーで行われた。その機会を利用して、会員に集まってもらい、懇親の場を設けたらどうかとの提案が会員の中から持ち上がった。

展覧会見学

野田さん（高19回）が年度末で勤務先の大学を定年退官される事になり、この度、退任展が名古屋市内の大学のサテライトギャラリーで行われた。その機会を利用して、会員に集まってもらい、懇親の場を設けたらどうかとの提案が会員の中から持ち上がった。

野田さん（高19回）が年度末で勤務先の大学を定年退官される事になり、この度、退任展が名古屋市内の大学のサテライトギャラリーで行われた。その機会を利用して、会員に集まってもらい、懇親の場を設けたらどうかとの提案が会員の中から持ち上がった。



土管坂で



野田先生退任展会場

り、急遽、メールアドレスを把握している会員に声をかけた処、一月二十一日に七名の会員が集まった。一時間程、展覧会場を見学した後、名古屋市内で最も繁華街である錦三丁目の居酒屋で、懇親会を行った。皆が酒好きなので、話題は四月の酒蔵見学をどうしようかで大変盛り上がった。

常滑地区の散策

総会の席で話題になった「常滑の焼き物散歩道と酒蔵見学」を四月十一日に行った。都合の付いた八名の会員が快晴の中、常滑駅に集合し、焼き物散歩道Aコースを散策した。土管坂、大きな登窯、古い煙突のある風景を見ながら、一・六キロのコースをゆっくりと散策した。その後、この地区で有名な蔵元「白老」を訪問し、酒の出来るまでの説明を聞くと同時に、酒蔵のなかを案内していただいた。

更に、蔵元が経営する「常滑屋」で、白老の美味しいお酒を試飲する機会を得た。推薦された数種類のお酒を堪能しながら懇親会に衣替えし、楽しい半日を過ごす事ができた。以上

北社会

青山 史朗 (中40回)

わが命

振り返ればわが北社会は三百回を重ね、あらためて感無量の思いを禁じえませんが、ここでわが胸に去来する出来事や忘れえぬ同窓の方々のことを綴らせていただきます。在京仙台一中同窓会が結成されたのは戦後間もない昭和二十五年五月のことで、大蔵省銀行局長から衆議院議員選挙に立候補する愛知探一先輩を応援しよ

うと、春日敏氏(中5回)を会長として新橋ステーションホテルで華々しくスタートしました。その後いろいろ曲折がありました。昭和三十三年十月に愛知さんが法務大臣に就任されたお祝いを兼ねて、鎌倉河岸日立別館で総会を開いたのを最後に同窓会は途絶えてしまい、なんとなく休眠状態になっていました。その後十数年を経た昭和四十九年六月に、橋本保雄君(高3回)を中心として約二十名の同志がホテルオークラに集まり、再建に向けて結束を誓い活発な活動を開始したのです。

何よりも先ず名簿の作成こそ急務と考え、同窓諸氏の消息をたどり、八方手を尽くして探索し、ついにガリ版刷りの名簿を完成するところまで漕ぎつけました。ここで思いがけない発展への端緒が開かれます。私たちはその名簿を携えて、安藤太郎住友不動産社長(中27回)の下で専務をしていた佐藤一郎氏(中35回)を訪ねたので

す。すると名簿を見ながら佐藤氏は唸り、これは素晴らしい人材の宝庫ではないか、これを活用しない手はないですと言われ、ありきたりの同窓会ではなく、中身の濃い集まりを発案する切っ掛けを私たちに示唆されたのでした。これが各界で活躍される方々を講師としてお招きし、それぞれ専門のお話を拝聴する勉強会を作ろうと始まった「北社会」誕生の思い出ふかい経緯です。

三百回を越すセミナーがわが北社会の実りある成果となりました。昭和五十年(一九七五)九月の第一回開催から現在まで、途中二年の中断はありましたが、三十八年の長きにわたって三百回を重ねたセミナーの歴史は、ほんとうに興味深い内容の連続でした。日頃はお会いできないような



北社会

斯界の権威にたいして、率直あるいは素朴な質問をぶつけるなど、同窓会ならではの親密な雰囲気のおかげで有益な時間を過ごしたものです。この間に知り合った多くの同窓との交流が、わが人生をどれほど豊かにしてくれたかを思えば、計り知れないご恩に感謝の気持ちで一杯になります。私もすでに卒寿を越えましたが、いまは「北社会」こそわが命の源泉だっ

たと思えて、言葉も詰まりそうな心境にいたります。ここで思い出の方々を私なりに挙げてみましょう。

○安斉浩さん(東京ガス会長)氏は東北大学学生の身分でありながら、母校の物理教師をつとめられたとか、なにせ母校が北六番町時代の昔になります。安藤社長や大石武一議員などの先輩たちがその薫陶を受けた方々です。氏はソ連政府の招請で羽田から出発される前夜、セミナーでヤクイーチャ・チュニメ油田の開発について熱弁を振るわれました。八十二歳の高齢にもかかわらず、ポンポン飛びだす数字の明確さはただ驚くばかりでした。

○吉田直哉さん(高1回、NHKチーフディレクター)日本のテレビ草創期に東大西洋哲学科から入局し、まさに未開の分野をその天才的な頭脳で開拓し、世界に誇る最高の作品を数多く手掛けた功績は広く認められています。何度か講師として登場されましたが、話術の巧みさと内容の面白さは抜群だったと記憶しています。聴講したひとり王子製紙専務の赤間幸司氏が、吉田さんのプロジェクトチームの作り方に感銘を受け、早速社内ですべてを編成して効果をあげたという報告がありました。吉田さんの主要作品を紹介しましょう。大河ドラマでは「太閤記」「源義経」権の木は残った、また海外取材では「未来への遺産」「明治百年」「アマゾンの大逆流」「国境のない伝記」「ミツコ―二つの世紀末」「21世紀は警告する」など。吉田さんは筆も立ち小説やエッセイも書いておられ

ましたし、小説「ジヨナリアの噂」が昭和六十三年芥川賞候補になりました。○山川民夫さん(中39回、東京大学医学部名誉教授 日本学士院会員)昭和五十三年糖脂質についての研究で朝日賞・恩賜賞を受賞した記念の講演をお願いしました。生化学のうちでもとくに複雑で分かりにくい物質のお話で、正直を言うと私たちの頭脳ではとても付いていけないものではなく、せめて著名な先生のお声に接しただけでも幸運でしたと、ご挨拶をさせていただきました。昭和六十二年以来の学士院会員として古参会員になりましたが、現在は日本の優秀な学者の研究を海外に紹介する Proceedings of the Japan Academy, Series (学士院欧文紀要) 編集責任者として、世界の学者が注目する目覚ましい成果をあげておられます。

○和賀井敏夫さん(中42回、順天堂大学名誉教授・右巻市名誉市民)昭和二十四年に新潟医科大学を卒業して上京し、まだ戦禍の跡も生々しい東京の窮乏生活に耐えられ、憧れの順天堂医科大学外科学科に入局しました。旧制二高時代の友人で石川島重工の研究所に勤める人から、金属材料の傷を検査する超音波探傷器があるが、人体に適用できないものかというヒントを得て、工夫と創作、果てしない失

敗の連続の後に、今日の癌や胎児の診断に不可欠な超音波診断法を完成されたのです。昭和三十一年（一九五二）ボストンで開催される世界音響学会大会に招待され、生まれて初めての外遊と国際会議で研究発表する栄誉に浴しました。しかし当時の日本はまだ貧しく、渡航費用の捻出のために苦肉の策で貨物船の船医となり、四十五日の航海の末にニューヨークに到着したという思い出話は、出席した会員たちに大きな感動を与えたものでした。平成十八年五月、先生の学士院賞授賞式には友人代表として私も出席させていただき、天皇陛下の御前で表彰される晴れ姿と、山川民夫、西沢潤一と三人の学士院受賞者が一堂に会する快挙を目の当たりにし、同窓生としてまことに誇らしく、感銘深い一日でした。

○平 朝彦さん（高17回、海洋研究開発機構理事長）
 東京大学海洋研究所教授時代から何度か講演をお願いしましたが、今や日本の海洋研究の第一人者として活躍しておられます。昭和五十五年日本で初めて深海潜水艇二〇〇〇が完成しましたが、その建造開発を担当されたのが大野壇さん（中48回、三菱重工海洋開発部長）で、十一年の歳月と建造費三十八億円の巨費を投じて完成するまでの苦心談は、聞く者の心を打ちました。その船に乗って研

究される平さんとお互いが同窓であることを知らず、北社会で初めて感激のご対面をなされるハプニングがありました。最近のちきゅう号は六〇〇〇米まで潜水できる世界最高の技術を備えているとか、日本海溝のプレート移動と地震の関係、地下資源の探査など平さんの仕事はますます重要な場面を迎えつつあります。平成十九年には和賀井さんに続いて、日本学士院賞を受賞されました。

○天江喜七郎さん（高14回、ホルル総領事）
 平成七年十月に北社会創立二十周年を記念しハワイ旅行を敢行しました。もちろんホルル総領事の天江さんにもお話をしておいたのです。総勢三十二名が夫人同伴者も含めて参加し、二日間マウイ島でゴルフと観光を楽しんだ後、緑樹に囲まれた白亜の公邸を訪問することになりました。私たちがまず目にし耳にしたのは、広い緑の芝生で演じられるハワイアンダンスの優美な動きと音楽です。それはかつて接したこともないほど洗練された見事なものでした。酒は天江家寄贈の名酒「天賞」、料理は公邸シェフが腕を振った美味で、酔うほどに歌となり、総領事オハコの「青葉城恋歌」に始まるカラオケの競演には聞き惚れるばかりでした。終わりは日本一の名校歌「あなたたふとあなうるわし」がホルルの夜空に高らかに流さ

れました。余談ですが、十二月七日ホルルで開催された真珠湾慰霊式典に、これまで日本人は誰も出席しなかったのに、天江総領事は赴任して早々敢然とこれに出席したことが「勇気ある行動」として新聞で報道され賞賛された由。いかにも外交官らしい温和な風貌ながら、さすが柔道と空手高段位の肝っ玉を持つ北陵健児なればこそと感動します。

○鈴木勝王さん（高16回、石油資源開発株式会社 副社長）
 日本の石油資源開発の第一人者です。エネルギー確保という立場から、大手をはじめ独立系大規模石油会社との意見の交換、権益の取得に向けて奔走されています。最近もイラクの巨大油田の入札に参加し、落札の大手柄を立てられました。著書「ノアの方舟はなぜ沈まなかったのか―石油文明の夜明け前」を出版されたのを機会に、講演をお願いしました。石油は人類の発生した数万年以来、人々の生活に利用され、私たちの生活に深く浸透していることをはじめ、現在にいたるまでの石油・天然ガス利用の歴史をまとめたお話は興味深く、出席者に大きな感銘を与えました。なおこの著書の紹介推薦文を前記の平朝彦さんが書いておられ、ここにも同窓の結末が見られて心強いものがあります。

最後に北社会の運営と実務にお手伝いをいただき、私の心に残る方々のお名前をあげて、むすびといたします。私は一九七五年から一九九六年にいたる二十一年間、一八九回までこの会を主宰いたしました。二〇〇四年から鈴木壯夫さん（高11回）を中心に六氏が運営を継続しています。講師の選任、会員への案内、受付等々苦勞が多いのですが、特にアシスタントの方々の支援なしには進まないものです。私の場合、代々七、八名の方々に協力していただき、特に次の二氏のこと忘れられませ

ん。北社会創設期のころの川名英一さん（中47回、日本生命）。在学中は柔道部の猛者で、オリンピック重量挙げの国際審判員となり、優勝者三宅正一選手育ての親として活躍しました。新宿の副都心開発の部署で働いておられ、あの有名な弘世現社長のお気入りだけに誠に気配りのきく人でした。ただ突然、日本山妙法寺の日達上人に帰依し得度してしまったのには驚かされました。今はどうしておられるのでしょうか、その後のご消息を知りたいものです。庄子文一さん（高7回、大林組営業課長）。本店勤務の超多忙のなか、いつも夕方五時には住友クラブの会場に現れ、受付業務をやっ

て下さった誠実さに深く敬服しております。

この会のますますの発展を祈って止みません。

二〇一三年六月

仙台五三の会

木皿 謙（高5回）

『傘寿』を迎えて

初秋の声を聞く平成二十五年九月七日（土）仙台駅前JALシティに於いて、仙台五三の会二十七名・東京五三の会五名・計三十二名の出席を得て傘寿の賀を開催致しました。

記念写真撮影ののち校歌斉唱。最近なくなられた方に対する黙祷。木皿世話人代表の挨拶。そして皆さんの健康と再会を祝して評議員小金澤君の発声により乾杯。出席者の近況報告に先立ち東京から出席して戴いた鎌田、佐藤（宏）、



「傘寿」の記念写真



60年前の若き群像(泉ヶ岳遠足) 宮沢氏提供

佐藤(隆)、菅原、高橋(毅)の五君紹介ののち懇談に入り、「八十路」とは思えない元気な声で参加者全員の近況報告をして戴いた。次回の節目は八十八才の「米寿」となりますが、本日の出席者の中で何人位出席できるかとの疑問の声も出て、それ以前にこれからの一年一年を大切にしてくださいと顔を会わせましょうと言うことになりました。

最後に凱歌を歌い上げ、高橋(毅)君の元気な三本足の音頭にて、母校の発展と一同健康を祈念し次回の再会を誓い散会致しました。

参考

仙台五三の会員登録 五十五名
東京五三の会員登録 五十八名

仙教委北陵会

東海林惠吾(高28回)

雨か嵐か!

仙教委北陵会総会・懇親会報告

平成二十五年十一月二十一日、平成二十五年年度の仙教委北陵会総会・懇親会が行われました。

仙教委北陵会は、仙教委事務局及び仙教委管内の学校に勤務するものをもって組織している二高OB会です。平成二十五年年度の郡山孝幸会長が二十五代目であり、現在は小中の輪番制で会長職を交代するシステムで会を運営しています。二年サイクルで運営していることを考えますと、少なく見積もっても五十年以上は歴史のある会と言って差し支えないでしょう。

さて、北陵健児のスピーディーな対応で総会を滞りなく終了し、懇親会の部では、二高の渡邊幸雄校長からご祝辞を、小林裕介教頭からテーブルスピーチをいただきました。



2013.11.21

ました。相変わらずの二高生の活躍ぶりが紹介され、会員一同、明日の活力をいただいた次第です。本会では、さらに仙台市教育委員会教職員課・吉田秀夫主幹からもご祝辞をいただきました。

学校の限られた時間を如何に活用し、すべてを子どもたちの成長につなげることを考える教育現場に身を置く私たちにとって、このようなOB会で力を付けてもらうことは、一年に一度のかけがえのない瞬間です。ご来賓の米山健治・第二十三代会長や前会長の庄子修・第二十四代会長もこの会にご臨席いただいている点からも本会の重みを感じずにはいられません。懇親会参加者は、二十五名でしたが、若い方々の参加もあり、今後は若い世代に本会の盛り上げを託していきたいと思えます。

この会では、テーブルスピーチがひとつの名物となっており、参加者が二高への思いや教育者としての近況報告を熱く語っていきま

す。それによって、会の持ち時間・二時間があっという間に過ぎてしまうのが、通例になっていきます。二高生の雄弁さが多少災いしている感がありますが、どの話も納得至極で思い出話の花は尽きません。

さて、冒頭のタイトルの「雨か嵐か」ですが、会の最後は必ずと言っていいくらい「雨か嵐か」を歌っています。二高生が岩手山登山の折に頂上で「雨か嵐か」を歌ったことを聞きながら、一同胸を熱くして歌っています。

豊栄会

砂金 正泰(高7回)

豊栄会ゴルフ部

「豊栄会」は、仙台二高・昭和三十年卒業(高7回)の同期会で、名付け親は、当時の二高には

数名の名物先生がいましたが、その中のお一人である恩師の国語教師「スガメさん」(渡邊義夫先生)です。

卒業後の同期会最初の集まりの際、ご来賓の「スガメさん」から「二高卒業生として、誇りを持って頑張ってください」と激励の言葉に添えて、「同期会の名称は、校歌の一節『豊栄昇る...』から『豊栄会』ではどうか」と「豊栄会」という立派な名称をつけていた。

豊栄会は幹事のお蔭で、還暦・喜寿等々、主に節目ごとに総会と称して松島、秋保温泉等で開催されている。また同期生の懇親の機会をより密にしようとのことで、同期生S氏の名取ゴルフ・クラブ(現・仙台カントリー・倶楽部)社長就任を機に、平成十年十月に



2013.10.28



有志三十名により、「豊栄会ゴルフ部」が誕生し、名取ゴルフクラブを主会場とし、コンペを年五〜六回開催してきた。

S氏退任後コンペ会場は、仙台近郊の各ゴルフ場で開催しているが、首都圏域居住部員等の要望から部員相互の親睦をより深め合おうと、平成十五年から秋には、一泊・懇親会付きの遠征ゴルフコンペを東京・仙台の中間に位置する温泉付きの白河高原カントリークラブで開催している。

この遠征ゴルフは、コンペ前夜の懇親会中に猛台風であったのが、翌コンペ当日は、台風一過、雲一つない秋空に恵まれたり、アツと驚く日氏のホールインワンが出るなど思い出となる事柄が多く、一年で一歩楽しみなコンペでもある。

それが東日本大震災により、二年ほど休止したが、昨年の十月に再開した。この時も日本中を大暴れした大型台風が懇親会中に大きく逸れ、またまた天高く青空の下、素晴らしい紅葉を鑑賞しながらのコンペとなり、さすが「豊栄昇る豊栄会」と意気揚々と白河高原でのプレーを楽しんだ。

今年はゴルフ部設立・十六年目を迎え、今年の四月まで、コンペを八十二回開催しており、その成績表、優勝者談話、ゴルフ競馬(優勝者・準優勝者当てる)の報告、次回コンペ案内等を記載した「豊栄会・ゴルフ部ニュース」を、ゴルフ部設立時の第一号から第九十二号まで発行しており、コンペ不参加者への部員の健在振りのお知らせを兼ねたコンペ状況報告ともなっている。

ゴルフ部がこれまで和気藹々と長く続いている要因は、部員相互の協力、「ニュース」による情報の伝達、コンペの二重の楽しみ等の「ゴルフ競馬」からの安定財源等によるものであろうかと思われる。

これからも昨年の白河高原で誓い合った「第百回・豊栄会ゴルフ大会」の達成を目指し、お互い健康に留意し、末永くゴルフを楽しむことにしている。

計算上では、あと四年であるが、老いに向かうだけに如何に?... 「渡邊先生」より、「スガメさん」

と呼ばれることを喜んで下さった「スガメさん」に感謝!感謝!豊栄会、頑張ります!

豊栄会には、在京の「東京・豊栄会」もあり定期的に活動しており、また、趣味の部として「ゴルフ部」のほかに「囲碁部」と「釣り部」があるが、釣り部は、東日本大震災後は休止状態で、趣味が一つ減り残念。部員一同早い復興を祈っています。

「囲碁部」は、部員十名で、以前は温泉で夜通しで打っていたが、現在は毎月最終月曜日に、「本町囲碁センター」で囲碁大会を開催しており、大会後の懇親の場で二高時代の回顧談義、健康談義、時局懇談等々を楽しんでいる豊栄会です。

在京三六会 高橋 成彬(高13回)

『在京三六会新年会』と『春の鎌倉散策』

一、在京三六会新年会

今年も二月一日(土)正午より新宿住友ビル最上階の『東京住友クラブ』において『在京三六会新年会』を開催しました。この会は仙台二高・昭和三三年卒業の首都圏同期の集まりで、発足からかれこれ三十数年の歴史を刻んでいます。最近では毎年この時期に新年会



会場での集合写真

を開催して旧交を温めています。今回は大部分の同期生が六度目の「年男」を迎えるという節目の年の新年会となりました。

開催当日は午前十一時半の受付開始を待ちかねたように『おうー』『久しぶり!』などの声が飛び交い正午の開宴には二十四名の同期の面々が顔を揃えました。

仙台の三六会から昨年に続いて菊池康夫君、菅野昭雄君そして今回は斎藤 勲君も遠路駆けつけてくれたのは嬉しい限り、会の盛上げにも一役かかってくれました。今後も仙台三六会との交流の輪が一段層広がっていくことが期待されます。

会は三協立山アルミ(株)相談役で富山・高岡商工会議所会頭として活躍中の川村人志君の挨拶・乾杯の音頭のと和やかな雰囲気

のもとで歓談に移り、仙台組の挨拶・近況報告、そしてここしばらく体調を崩し欠席がちだった前幹事の渡辺幸昌君が三年ぶりに元気な顔を見せ「病氣克服談」を話してくれたのは明るい話題でした。続いて出席者全員による「ブリースピーチ」に移り、竹内幹事の司会により全員から一言ずつ最近の身の回りの出来事などを交えた近況を気楽に話してもらいました。話題は実に豊富で健康関連の話や『教育(今日行くところあり)』と教養(今日用事あり)の話、旅先での思わぬ失敗談等々ユーモアに溢れた話に笑いが絶えず、脳が久しぶりに活性化されたひとときでした。

結びは恒例の校歌斉唱、写真撮影をして中締め、仕上げのお茶会と続き次回の再会を約して盛況の



鎌倉大仏前で

うちに閉会となりました。
末筆ながら富山・高岡の「幻の名酒」「勝駒」を差入れてくれた川村君、仙台名産「笹蒲鉾」や銘菓など沢山の土産持参で参加してくれた菅野君にはこの紙面を借りて改めて感謝を申し上げます。名酒と笹蒲鉾は相性抜群で全員がその素晴らしい味を堪能したことをつけ加えて新年会の報告とします。

二、春の鎌倉散策

『鎌倉散策の会』は在京三六会の分科会的なイベントとして鎌倉在住の幹事・竹内一夫君の呼びかけで昨年からは始まり、第一回目として昨年五月下旬に北鎌倉周辺の寺社巡り、第二回目は十二月上旬に鎌倉宮方面・獅子舞の谷の紅葉探勝などすでに二回の散策の会を実施しています。ガイド役はかつて神奈川県立高校での教職をつとめ鎌倉の歴史や地理に精通している津田信勝君が引き受けてくれており、その懇切丁寧なガイドぶりは大変好評で毎回十名前後の三六会有志が参加しています。
今回は三回目の散策として九名(うち夫人同伴二組)の参加のもと、絶好の花見日和の四月二日(水)に鎌倉大仏、光則寺、長谷寺から稲村ヶ崎まで散策しました。満開の桜をはじめ海棠、木瓜、ミツバツツジなどの花々を観ながら春爛漫の鎌倉をたっぷり楽しんで

だ一日でした。散策後は大船駅前の居酒屋で冷たいビールで喉を潤しながら懇親を深めました。今回は夫人お二人の参加もあり一層和やかな宴となったことは言うまでもありません。今秋は江ノ島方面の散策を計画中であり、健康づくりを兼ねて一人でも多くの同期諸兄の参加をお薦めしたいと思えます。

第二十二回岩手県在住
仙台二高(二中)・
仙台一高(一中)
合同懇親会
橋浦礼二郎(高23回)

平成二十五年九月七日(土)第二十一回となる本会が盛岡市の三寿司総本店にて開催されました。二高側は仙台から渡邊幸雄校長、高橋和男同窓会理事のお二方に来ていただきました。参加者は二高側が十五名、一高側が十二名で参加者数でまず二高が勝利を収めました。

最初に本年度幹事校の渡邊登志雄仙台一高同窓会岩手支部長が代表挨拶されました。つづいて鈴木恒男仙台二高同窓会岩手支部長から、二つの高校が合同で同窓会をして二十一年も続いているのは全国的に珍しいことです。これからもラグビーでいえばノーサイドですが、お互いに対抗意識を持ちつ

つ、懇親するこの会を続けていきたいとの挨拶がありました。続いて、加藤順一仙台一高校校長から、ご挨拶と放送部が作成したDVDの映像を流しての学校紹介がありました。渡邊幸雄仙台二高校長からは、「伝統が息づく新しい仙台二高」を目指してと題したパワーポイントのプレゼンテーションと「北陵の四季」を配布しての二高紹介とご挨拶がありました。

映像で現在の二高の校舎を映していただくと、「きれいになったなあー」という声があちこちで聞かれました。岩手山登山の話の時には拍手が起りました。
高橋和男理事の御挨拶の中で



第二十二回岩手県在住仙台二高(二中)・仙台一高(一中)合同懇親会

は、一高・二高OBによるゴルフ対抗戦に二高が勝利したお話をいただきました。その後は一高、二高がすっかり混じって、お酒を飲み懇親の場になりました。
最後に一高、二高の順番で校歌、凱歌、を熱唱し、エールの交換をして散会となりました。

二高側出席者

- 佐藤秀雄(高1回)、和田謙郎(高3回)
- 鈴木恒男(高5回)、佐藤邦夫(高12回)
- 岩淵達志(高16回)、千葉 知(高19回)
- 武内健一(高21回)、吉江信博(高21回)
- 相ノ山隆(高22回)、根田幸三(高22回)
- 橋浦礼二郎(高23回)、竹中陽一(高25回)
- 赤平英之(高32回)

ゲタの会

福田 和弘(高22回)

「高22回ゲタの会活動報告」

いつも突然私の携帯電話に、同期の同窓会の鈴木誠一活性化担当副会長より連絡が入るのです。本日も昼食をとり、昼寝を決め込むうとしたら、電話が鳴りました。「ゲタの会の活動報告を同窓会報に載せるから書いてける。」「いつまで」「今日まで」「えっ」こんな調子です。慌ててPCに向かい、書き始めているんです。「何書くべ。??」

先ずゲタの会の由来から

ゲタの会は、今から二十七年前仙台二高同窓会の当番回期を初めて仰せつかった時に発足しました。第二次大戦後新制高校に成つてから二十二回目に卒業した我々です。二十二にあやかって、江戸時代の女流歌人・俳人で貞門派の女流六歌仙の一人 田 捨女(でんすてじょ・すてめい六三四一六九八)がなんと六歳の時に詠んだ「雪の朝 二の字 二の字 下駄の跡」に由来します。下駄でまっさらな白雪の上を歩いた後の二の字二つ並んで踏みしめた様子が、22回卒の我々と共感、一致した事。そして、我々がイメー

ジする当時の二高生のバンカラの象徴が、下駄であった事に由来します。因みに一高の同期である22回は「玲瓏会」と称します。「ツーツーレロレロ」からレイロウ会玲瓏会だそうです。
何してんだや
呑み会だっちゃ。22回卒なので、それも毎月二十二日欠かさず呑み会です。

土日も関係なく。最近ではマンネリ化を避けて「合コン」もやりました。でも仲間の一部からナンパ過ぎないかという批判も出ております。直近の五月二十二日(木)は久しぶりの方や初参加の方も出でになり、二十名以上の参加となりました。ゲタ飲み会は江陽グランドホテル勤務の同期、もう片



方の福田こと福田瑞久君の絶大な協力により毎月二十二日十七時より、十三階の龍天江のパーティルームを貸切で使わせて頂き、ゴージャスな飲み会をもう二十年以上続けさせて頂いております。これがゲタの会の「纏まりの良さ」の源となっております。

モットー
ゲタの会は間違いなく同窓会の活動が無ければ生まれていなかったの、仙台二高同窓会活動に全面的に協力するというのがモットーです。三年前に西澤潤一前会

長より引き継がれた大井龍司会長の、「日本一の同窓会」にするという活動方針のもと、それを実現すべくお支えしていく所存であります。というわけで仙台二高同窓会の皆さん、今後ともゲタの会の動きにご注目とご指導ご鞭撻をお願いします。

高33回同期会

松谷 秀則 (高33回)

今回、より多くの同期生に同期会についてご案内したく初めて寄稿しました。

高33回生同期会(33会)は平成十一年から毎年一月二日と八月第二土曜日の年二回開催し、今年の一二月二日の同期会で三十回目の開催となりました。毎回、二十名前



後の同期が集まります。これまで皆で厄払いに行ったり、同年代の宮城一女の皆さんと合同同窓会を行うなど数々のイベントも開催してきました。今年の秋には家族も交えて芋煮会を開催する予定です。二年前には33回生東京会が発足し、こちらも毎年一月第二金曜日と九月第一金曜日に開催することになっていきます。

昨年度は、母校のPTA会長として同期の結城道広君が頑張ってくれました。前途洋々たる仙台二高生の未来に期待し、同期お互いの今後の夢を語りながらこれからも皆で杯を傾けたいと思っております。多数の皆様同期会への参加をお待ちしております。

連絡先 松谷 秀則
090-3753-3491

東京会連絡先 高橋 毅
070-6510-7332

剣道部

手嶋 泰伸 (高54回)

毎年のお盆と元旦に、現役生との稽古会を開催している他、昨年八月には、元顧問の大野剛先生の御退職に伴い、謝恩会を行いました。現在、現役生が、新人戦で三位入賞を果たしたことから、遠征費等を支援するため、寄附の募集をしております。詳しくは、OB会事務局まで御連絡下さい。

連絡先 office-2kokendo@googlegroups.com



バドミントン部

穴戸 義一 (高22回)

バドミントン部でも、十二月三十日にOB・OG会を開催しました。

二〇〇〇年以降の卒業生を中心に、毎年年末に開催しておりますが、二〇〇〇年以前に卒業した方の参加がほとんどありません。OBの方は、下記のホームページをご覧ください。是非、今年も参加をお願いします。

参考までに、今回の内容は以下の通りです。

第一部【現役・OB・OG昼食会】

会場	11時45分～12時35分 仙台二高北校館
内容	部活・勉強・大学のことなどをフリートーク
参加人数	14名(70年～13年卒) +現役生+先生
第二部【現役・OB・OG交流会】	
会場	13時00分～17時00分 仙台二高体育館
内容	現役・OB・OG混合 チーム対抗の団体戦、 フリー練習
参加人数	33名(70年～13年卒) +現役生+先生
第三部【OB・OG忘年会】	
会場	18時30分～20時30分 居酒屋「北の家族」
参加人数	34名(99年卒～12年卒) ご友人にバドミントン部の方が おりましたら、ホームページの紹



介をお願いします。仙台二高バドミントン部で検索すれば、見つかりますのでよろしく願います。

仙台二高バドミントン部
OB・OG ホームページ
URL <http://sennikobadmog.web.fc2.com/index.html>

柔道部

菊池 哲佳 (高45回)

二〇一四年一月二日、二高柔道部同窓生の新年会を、仙台市内で開きました。

高44〜46回卒を中心に、当時柔道部の顧問を務めてくださいました渡邊幸治先生（現在 宮城県貞山高高等学校校長）を囲んで、ささやかながら楽しいひと時を過ごしました。

その際、来年も一月二日に開催し、「来年こそ是非稽古したいね。！」という話で盛り上がりました。

詳しくは、まだ決まっておりますが、来年の新年会では、当時柔道部に所属した多くの先輩方にお会いできることを願っております。

なお、昨年より二高柔道部OBのMLやFacebookページも立ち上げております。

ご登録をご希望の方は、菊池まで一報いただければ幸いです。

ご挨拶とご報告まで失礼いたします。今年もどうぞよろしく願います。

菊池 哲佳
email akiyoshi@gmail.com
facebook [facebook.com/kikuchiakiyoshi](https://www.facebook.com/kikuchiakiyoshi)



軟式野球部

菊池 房雄 (高18回)

仙台一高・仙台二高
軟式野球部OB定期戦について

我が仙台二高軟式野球部OB会の特徴は、大先輩から卒業したたてのOBまで、年齢差五十歳もある

メンバーで構成されることにあ。これらのメンバーが、毎年正月二日の新年会に、現役当時の部長先生方のご臨席を賜り、一堂に会して旧交を温めるのが慣例となっている。

そのうちの一人が、たまたま仙台一高軟式野球部OBと、職場が一緒になったことをきっかけに、現役の試合を見るたびに、その未熟さに切歯扼腕していた面々は、卒業生同士で定期戦をやろうと考えた。その後、両校OBで連絡を取り合った結果、一高側もそれを機会に、軟式野球部OB会を結成し、定期戦実現に呼応したという。

かくして、二〇〇九年（平成二十一年）の秋、奇しくも現役の定期戦が始まって五十回目、我が部創設六十周年の時、第一回目の仙台一高・仙台二高軟式野球部OB定期戦が開催されることとなった。在仙の者は勿論、県外からも多数の参加者があり、ゲームも、終了後の懇親会も大いに盛り上がりを見せた。——その後、震災の年を除いて毎年開催され、これまでの戦績は、我が校の二勝一敗である。

競技の規定は、出場選手は五十歳以上、七回戦、出入り自由というラフなもので、長老・古株は指名打者に専念し、より若手はもっぱら代走に駆り出される。いつまでも経っても上下関係は揺るぎないのである。



今年のOB定期戦は、グラウンド借用の関係で、試合の前日に懇親会を行うことになった。その晩は日本シリーズ最終戦だったので、両校OBはお互い交歓しつつも速報が気になり、一高vs二高ならぬ楽天対巨人の応援合戦の様相をも呈していた。されど、結果的には我がOB定期戦の前座となっただけである。

明くる日、楽天日本一の興奮も冷めやらぬ十一月四日、仙台一高校庭に両軍六十六歳を筆頭に、各々二十〜三十名ほどが参集。昨夜の雨でグラウンドは水浸し。皆で整備するも一塁側がドロドロのぬかるみゆえ、両軍とも三塁側という変則ベンチ。これでは作戦もサインも筒抜け。闘志むき出しのパトルというわけにも行かぬ。試合内容…今となっては更に髪

化学部

橋浦礼二郎 (高23回)

化学部有志によるOB会が二〇一三年十一月九日（土）秋保温泉「佐勘」で行われ、北は北海道から南は関東まで、三回期合わせて二十二名が集まり、四十数年ぶりの再会に喜び、懇親を深めました。

この会は22回生単独で行っていましたが、四年前には23回生が加わり、今回は21回生も加わっての開催となりました。宴会前から幹事部屋では、差し入れのドンペリも登場し、0次会がすでに始まっ

ていて、久しぶりの再会で興奮に包まれていました。

記念撮影後、一次会。白髪の似合う人、若々しい人、様々に変化していますが、でもどこかに面影が残っていて、名前を言うとき昔を思い出し、名前と顔が一致するのです。ある先輩から「ビール瓶洗い(注)をさせて皆様の帰りを遅くしてすみませんでした。」と謝る場面もありました。

(注) ビール瓶洗い：器具を清潔に保つ事の大切さを理解させるために、最初に一年生に行う伝統の新入生教育で、脱落者もでる。上級生がビール瓶にたっぷり汚れた油を塗りつけ、洗剤とブラシで汚れが完全に取れるまで洗わせる。これに合格して初めてビーカーなどのガラス器具洗浄に昇格できる。

二次会は再び幹事部屋に。持ち込んだ大量の日本酒、焼酎、ウイスキー、シャンパンなど何でもあり。応援練習の辛い思い出、広瀬川水質調査、実験、北陵祭、広瀬河畔で行ったサッカー、ソフトボールやマラソン練習、卓球、夏休みの実験の合間に入ったプールなど、話は尽きません。また、当時作った部誌『河童』が出てきて、自分が書いた文章を見て、とても感慨深いものでした。あまりにも楽しくて、すぐに次



回の話が持ち上がりました。オリピックと同じく、四年後という話も出ましたが、そんなに待てないという意見が出て、二〇一五年十一月六日(土)「佐勘」において、23回生が幹事で行うことを決定して散会となりました。OBの皆さん、二年後は奮ってご参加ください。

卓球部

鈴木 登 (高17回)

仙台二高卓球部 北陵会設立総会二報告

平成二十六年三月二十一日、ホテル白萩において、卒業生二十三名、学校関係者四名の出席をいただき、仙台二高卓球部北陵会設立

総会を開催しましたのでご報告します。

まず、設立趣旨説明を發起人代表の森俊彦(高17回)氏、現コーチの鈴木邦夫(高11回)氏の両名から話された。続いて、学校長の渡邊幸雄様からご祝辞を賜り、議事に入りました。山田信一(高17回)氏を議長に選出し、仙台二高卓球部北陵会会則の制定、平成二十六年度事業計画および事業予算(案)、役員選出が提案され、一部修正がありました。満場一致で承認されました。

総会後全員で記念撮影を行いました。総会終了後、懇親会が会場を移して行われました。まず、会長に就任した金子榮(高2回)氏のご挨拶、つづいて同窓会会長の



大井龍司様のご祝辞、そして高橋正道(高3回)氏による乾杯のご

応援団幹部OB会

阿部 信二 (高37回)

第二十九回応援団幹部OB会 総会・同窓会報告

平成二十六年五月十日(土曜日)、第六十九回硬式野球定期戦に合わせて第二十九回応援団幹部OB会総会が開催されました。昨年より同窓会との共同開催となっております。応援団幹部OB二十八名、同窓会二十五名と多数の先輩方にご出席頂きました。

今年、快晴の野球日和のなか、序盤こそ二高はリードを許しましたが、逆転に次ぐ逆転で実に三年ぶりの勝利を収めることができました。

発声をいただき、食事をしながら出席者の交流を行いました。和やかな雰囲気の中、一人三分以内で卓球部の思い出や、現況等を話していただき、今も現役で活躍されている方が多くいることに驚きました。さらに顧問の先生方から現役選手の活躍ぶりを報告していただき、その実力に感動し、この成績が今後も継続するようにと祈りました。

終盤全員で仙台二高の校歌を斉唱し、鈴木邦夫氏により一本締めをおこない、照井力夫(高4回)氏の閉会の辞をもって散会となりました。

現役応援団幹部を中心に在校生・同窓生が一丸となった素晴らしい応援が勝利を導いたことは間違いありません。試合終了後、コボスタ内のイーグルスネストで行われたOB会総会・同窓会はそのまますべて優勝祝賀会となりました。田中於菟彦応援団OB会長(高15回)、大井龍司同窓会長(高10回)、渡邊幸雄校長先生(高26回)から歓喜のご挨拶があり何度も祝杯をあげることとなりました。校長先生がこの度作製された「仙台二高」「1900年創立」ロゴ入りのインタビューボード(旗)のご紹介があり、この旗の前でまさに勝利の記念撮影となりました。ご参加頂いた先輩方から年齢順にスピーチを頂き、懐かしい二高昔話が披露されました。またNBAを目指す日本バスケットボール界の至宝、阿部理さん(高41回)や二高応援団存亡の危機を救ってくれたOGの小菅桃さん(高63回)にも参加頂き、祝賀会は大変な盛り上がりとなりました。応援団幹部OBの旗振りによる応援歌は「雨か嵐か」で始まり、「勝利の歌」、「凱歌」と熱唱が続き、最後に参加者全員で校歌を斉唱し閉会となりました。

私は今回、約三十年ぶりの定期戦参加でしたが母校の勝利に胸が熱くなりました。やはり定期戦は格別です。同窓の皆様、どうか来年の定期戦もコボスタに集結して

後輩たちの熱い姿を直に感じ、一緒に声を出しましょう。一人でも多くの同窓の方と祝勝できることを楽しみにしております。



ハンドボール部

菅間 進 (高21回)

ハンドボール部 OOB 会の 不思議な縁

五月八日に開催された北陵会の講演は、元同窓会副会長で現在の北陵会の前身である仙台二中・二高北陵会を立ち上げ、事務局担当として実質運営を切り盛りしていた 高橋正道先輩 (高3回) の「仙台二中・二高北陵会二十年の軌跡」であった。

正道先輩はハンドボール部 OOB 会の初代会長で、私が脱サラして二十八歳の時仙台に戻り OOB 会の組織化のお手伝いをした時からの付き合いである。

正道先輩が初代会長をお引き受けいただいた仕掛け人は直前会長の加藤正彰先輩 (高7回) であった。

あれから三十五年、お二人には長きにわたりハンドボール部及び OOB 会にご尽力いただき、個人的にもご指導を賜ってきた。

加藤先輩も正道先輩とは又違う形で母校発展のために寄与された方で、知る人ぞ知る有名人である。

昭和四十九年から昭和六十四年三月まで母校・仙台・高の体育教師、ハンドボール部部長として後輩たちを鍛え上げた。

張本というあだ名で、型破りな先生像として生徒たちからは大変慕われた方である。

最近腰の調子が悪く車椅子生活であるが、北陵会にはほとんど毎回参加され、国分町通いも絶やさない。しかしながら腰の調子がどうにもならないし、年も年なので私に会長を以前から要請されていた。

私としては事務局業務では、まるで一人でやっているようなもので問題があるので、事務局の引き受け手が決まればいつでもと、お答えしてきた経過がある。

二月十九日の北陵会にハンドボール部の後輩中鉢貴省君 (高48回) がどなたかの縁で初めて参加、名刺

交換をすることができた。

地元で会社を経営する新進気鋭の頼もしい後輩に、事務局の事情をバタバタと話をし、その後そのままになっていた。

偶然とはいえ五月八日、北陵会の日には昼間彼と会い事務局を正式に受けてもらえることになったのは不思議な縁である。

早速、北陵会で正道先輩と加藤先輩に報告をし了解を得、新たな体制スタートという事に。

ようやく三十五年間の事務局役を終えることができはつとすると同時に、OOB 会会長としてお二人の素晴らしい先輩の築きあげてきた伝統を汚さないようにとの思いが交錯している正に近況であります。

皆様方には今後とも宜しくご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



マット・ユニフォーム贈呈式

四人の級友のこと

山口 志郎 (中43回)

同窓会名簿にも載らない、時の流れに流された四人の級友の事を、紙面を借りて伝えたいと思います。

一人目は、昭和十六年半ばに空を飛びたいと、仙台二中の学業半ばにして、海軍飛行予科練習生を志願して行った中瀬清久さんの事です。彼は眉目秀麗な好漢、昭和十九年十月二十五日フィリピン沖で、神風特別攻撃隊若松隊員として、米国の航空母艦に特攻戦死しました。十九歳の若さで辞世

海征かば水漬く屍と聞くものを空征く我は白雲と散る

二人目は、昭和十七年に二中の卒業を前にして、舞鶴の海軍機関学校に入学した松本公男さんです。終戦直後の昭和二十年八月十八日に、私がいた海軍兵学校の江田島岸壁に、菊水の旗をなびかせた五隻の特殊潜航艇のハッチから顔を出した男を見ると松本君でした。彼は戦争継続の決意を語りましたが、我々の説得を聞いて、五隻とも去って行きました。その松本さんはその後無事復員し、家業を継ぎましたが、惜しくも病没しました。

三人目は、日下部達夫さんです。昭和十五年、二中から陸軍幼年学

校に入り、士官学校を経て陸軍将校となり、復員後昭和二十七年九月、調査船第五海洋丸に乗り、八丈島南方で、海底噴火して出来た新礁の明神礁の調査中に、噴火を受けて爆沈し、亡くなりました。

四人目は、森田稔一郎君の事です。彼は昭和十六年に、後に東京裁判で東條英機の頭を叩いて、精神異常として、A級戦犯から外された大川周明が開いた、アジア経済研究所に、アジア民族の解放の為に、一身を捧げると学業半ばで入所し、十七年に一度会った時に、アラビヤ語を書いて、頑張ると言っていました。その後の消息は杳として不明です。砂漠の果てに消えたのでしょうか。

二十五年の会費を納入するに当たり、九十歳近くなった今、同窓会名簿に載らない、彼等の存在をお知らせするのも、私の任務かと思ひ筆を執りました。

訂正

46号の「マルクス違い」の文の中で、マルクスをソ連の人、と表現していたのは間違いで、正しくはドイツの人です。訂正致します。

創立記念講演会

「すべては二から」

NHKエグゼクティブ・アナウンサー
NHK福島放送局 伊藤 博英氏 (高25回)

五月一日の創立記念行事に、NHKエグゼクティブアナウンサーである高校25回の伊藤博英氏を講師として「すべては二から」という演題で講演をしていただきました。

氏は仙台二高から早稲田大学法学部に進学、昭和五十二年に日本放送協会（NHK）に入社されました。NHKでは福島放送局を皮切りに、長野や名古屋、もちろん仙台も経て、東京に戻り、平成二十四年から福島放送局に勤務されておられます。この間の阪神・淡路大震災での現地での放送経験をもとに、東日本大震災では誰よりも早く津波の警戒をラジオから訴え、その



放送により多数の命が救われたことは紛れもない事実です。このことがきっかけとなり、現在は福島放送局に自らの希望で異動されました。

「すべては二から」という演題は、必ずしも県内トップでなかった当時の二高に入学、第二志望の大学に入学、さらに苦し紛れに受験したNHKに入社して、一番ではなく、二番だからこそ（もちろん、それは氏の謙遜だと思いますが）出来たことが沢山ある、という意味だそうです。

一番の人は自分に自信があるが、二番は人から教わったことを素直に受け入れる「教わる力」があり、二番だからこそ、リスクを背負ってやれることがある、本当にやりたいことが出来る、下から目線で、ものごとを考えることが出来る、ということでした。

二十年前に氏が「NHKニュースおはよう日本」を担当されたときは、朝早く睡眠時間もとれず、嫌でしかたがなかったそうです。その時、ある方から「伊藤さんがいなければ『おはよう』を言う相手がいません。」という手紙をいただき「自分の放送を待っていてくれる方がいる」ということに気付きました。見えてくれてありがとうございました」という「本来あるべきもの」を忘れていたことに気付いた、ということでした。

こうして、氏は間違いなく現在のNHKで一番のアナウンサーになられたわけですが、中央での名誉を捨て、使命感を持って福島に勤務されております。これも「二の精神」で培われた謙虚な心を持ち続けている、あたたかい人間性の賜に違いありません。生徒もそのあたたかい眼差しと、お話の中から感じられる強い意志に、大きな感動を得られた講演会でした。

当日の夜は「囲む会」が開催され、講演を聴くことができたかった同窓生も多数出席し、楽しいひと時を過ごすことができました。改めて感謝申し上げます。

なお、氏には七月五日の同窓会総会でも、お話を伺うことになっております。同窓生諸兄の多数の参加を期待いたします。

(事務局)

同窓生からの寄贈本の紹介

- 作用素環の構造 竹崎 正道様 (高4回)
- 東日本大震災の記録「我ら歴史の生き証人」その時私は… 仙台二高ピンピン会様 (高11回)
- 追跡A to Z #48 なぜ交渉は行き詰まったのか 鈴木 勝王様 (高4回)
- イラク巨大油田争奪戦く 阿部 三彦様 (高8回)
- 『若波講座文学全12巻』
- 『ドラゴン桜全22巻』
- 『リップスティック・ビル』 且 英夫様 (高20回)
- 『折り紙 帆船』 長南 賢司様 (高24回)
- 『歌仙 津波来 撓屈 偏微』 井上 功様 (高10回)
- 『花野抄』14集 加藤 邪吞(文彬)様 (高11回)
- 『免疫細胞B A K療法』によるがん治療のパラダイム・シフト 海老名卓三郎様 (高11回)
- 秘録日本国防軍クーデター計画 阿羅 健一様 (高14回)
- 処は愛子 宮城のこども病院物語 大井 龍司様 (高10回)
- おとしぶみ 仙台二高17回生 卒業五十周年記念文集 高橋 賢様 (高17回)
- 軍神(かみ)になりそこねた男 佐藤 達美様 (高21回)
- オールドルーキー 阿部 理様 (高41回)

故菊地 喬先輩より多額の寄付をいただく

清水小路で外科医院を営まれていた故菊地 喬様(中46回)のご遺族(奥様とお嬢様)が、平成二十五年十一月十一日(月)に同窓会事務局を訪れ、故人の遺志なので同窓会活動に役立てていただきたいと同窓会に金二〇〇万円のご寄付をいただきました。理事会では、評議員会の皆さんの意見を聞きながら故菊地先輩のご遺志に沿うような使途を考えていきます。

支部 OB 会連絡先

● 支 部

団体名称	代表者	事務局(連絡員)	事務局連絡先
N・Y支部	且 英夫 (高20)	且 英夫 (高20)	8 Heritage Lane, Rye, New York 10580 USA, 914-921-0771
北海道支部	若生幸一郎 (中43)	上田 俊朗 (高15)	登別市常磐町 1 丁目14-3 0143-85-2729
青森支部	生駒日出夫 (中37)	新山 龍治 (高22)	青森市緑2-15-8 017-774-1009
岩手支部	鈴木 恒男 (高 5)	橋浦礼二郎 (高23)	盛岡市西松園1-9-2 019-662-7028
福島北陵会	阿部 力哉 (高 3)	益田 芳幸 (高 3)	福島市丸子字沢目17-2 024-554-5920
在京同窓会	佐藤 隆輔 (高 5)	赤井澤勝己 (高23)	千葉市若葉区みつわ台 1-27-1-B-304
東海北陵会	千葉 善根 (高 9)	佐山 泰弘 (高10)	愛知県知多郡武豊町平井6-39 0569-72-4032
関西同窓会	天江喜七郎 (高14)	川幡 公章 (高26)	兵庫県姫路市飾磨区英賀保駅前 町72プリート202 090-7716-3643
広島支部	奥田 幸造 (高12)	佐藤 均 (高17)	広島市西区庚牛中4-5-8-301 082-275-1269
気仙沼支部	移川 二郎 (中36)	移川 二郎 (中36)	気仙沼市松崎柳沢216-5 0226-22-6685
志津川支部	高橋 長偉 (高11)	高橋 長偉 (高11)	本吉郡南三陸町志津川十日町1 0226-46-2041
石巻・桃生・牡鹿支部	菅原 憲 (高 8)	後藤 宗徳 (高29)	石巻市千石町2-10 石巻グランドホテル気付
加美郡支部	有馬 恒彦 (高18)	大山 匡 (高23)	加美郡加美町字北町2-181-1 0229-63-3054
塩釜北陵会	大平 眞悦 (高18)	中村 賢一 (高17)	塩釜市尾島町1-15 022-362-3226
黒川北陵会	大友 正隆 (高16)	大友 正隆 (高16)	黒川郡大郷町羽生字原畑27-2 022-359-3222
岩沼支部	四倉 政美 (高10)	四倉 政美 (高10)	岩沼市桜2丁目1-15 090-3755-6555
亘理会	山田 芳廣 (高 9)	山田 芳廣 (高 9)	亘理郡亘理町字五日町19 0223-34-5347
角田支部	未定	湯村 周一 (高22)	角田市角田字町65 0224-63-1331

● 職 域

団体名称	代表者	事務局	事務局連絡先
仙台市役所北陵会	伊藤 行政 (高26)	砂子田 順 (高58)	〒980-8671 青葉区国分町3-7-1 仙台市総務企画局 人材育成部労務課 022-261-1111 (内)2222
宮城県庁仙台二高養賢会	吉田 祐幸 (高29)	野呂 秀樹 (高42)	〒980-8570 青葉区本町3-8-1 宮城県国際経済交流課 国際交流第二班 022-211-2277
仙教委北陵会	郡山 孝幸 (高25)	東海林恵吾 (高28)	〒982-0014 太白区大野田六反田10-5 大野田小学校 022-247-6654
藤崎北陵会	松原 大介 (高27)	星 史雄 (高37)	〒980-8652 青葉区一番町3-2-17 ㈱藤崎 人事部労務担当 022-261-5111

団体名称	代表者	事務局	事務局連絡先	
宮齒二高会	太郎丸 浩 (高17)	角田 哲 (高26)	つのだ歯科医院	022-281-4182

●クラブ

団体名称	代表者	事務局(連絡員)	事務局連絡先	
青葉倶楽部	硬式野球部	岡崎 正行 (高28)	岡崎 正行 (高28)	〒982-0242 仙台市太白区秋保町長袋戸崎64 022-399-2215
仙台二高 軟式野球部OB会	軟式野球部	岩田健太郎 (高49)	岩田健太郎 (高49)	〒981-0942 仙台市青葉区貝ヶ森3-29-25 022-278-1422
仙台二高 ハンドボール部 北陵会	ハンドボール部	菅間 進 (高21)	中鉢 貴省 (高48)	〒980-0014 仙台市青葉区本町1-12-12 GMビルディング9F 022-796-9411
仙台二高 バスケットボール部 東京北陵会	バスケットボール部	太田 一彦 (高23)	遠藤 英司 (高38)	〒165-0035 東京都中野区白鷺3-22-7-117 080-1133-3072
	サッカー部	菊田 久 (高25)	菊田 久 (高25)	〒963-0006 仙台市宮城野区白鳥2-26-24 022-258-2287
仙台二高ラグビー部 OB会	ラグビー部	本吉 和康 (高11)	桂島 猛 (高34)	〒981-3332 富谷町明石台5-41-1 022-776-1364
北陵騎士の会	フェンシング部	小栗 康次 (高13)	秋保 茂樹 (高32)	〒021-0866 岩手県一関市南新町55 0191-32-5105
	ヨット部	未定	奥野 誠也 (高22)	〒981-1304 志田郡松山町千石本丸49桃源院 090-6149-0002
仙台二高スキー部 北陵会	スキー部	前田 弘毅 (高28)	斎藤 雅人 (高34)	〒981-0953 仙台市青葉区西勝山7-2 022-719-3282
仙台二高陸友会	陸上競技部	宮崎 幹男 (高12)	加瀬 延男 (高16)	022-287-3901
仙台二高北陵柔道会	柔道部	佐々木優登 (高16)	鈴木 裕 (高27)	〒984-0836 青葉区新坂町3-19 022-271-3682
仙台二高剣道部 OB会	剣道部	菅野 敦 (高41)	手嶋 泰伸 (高54)	〒915-0841 福井県越前市文教2-2-45 キョウハイムG202 090-4550-8041
仙台二高弓道部 OB会	弓道部	中村 光雄 (中42)	山口 哲男 (高20)	〒980-0804 仙台市青葉区大町2-15-40 022-223-1618
仙台二高OB山の会	山岳部	三浦 康宏 (高31)	三浦 康宏 (高31)	〒981-3362 富谷町日吉台1-3-2 022-358-9452
仙台二高 バドミントン部OB会	バドミントン部	未定	宍戸 義一 (高22)	〒981-0952 仙台市青葉区中山7-14-8 022-278-4448
	卓球部	金子 榮 (高2)	鈴木 登 (高17)	〒983-0826 仙台市宮城野区鶴ヶ谷東3-14-19 022-252-4216
仙台二高応援団 幹部OB会	応援団	田中於菟彦 (高15)	田中於菟彦 (高15)	〒986-0912 仙台市青葉区天守台 青葉城本丸会館 022-222-0218
二吹会	吹奏楽部 (プラスバンド部)	龍田 正隆 (高11)	但木 均 (高22)	〒981-0912 仙台市青葉区堤町1-1-1-1201 022-717-3507
	演劇部	西條 昭将 (高15)	西條 昭将 (高15)	〒191-0053 東京都日野市豊田2-3-12 042-583-4997

※他の運動部、文化部の情報をお寄せください。

【連絡先】 仙台二高同窓会活性化担当副会長 鈴木 誠一

仙台二高同窓会事務局 〒980-8631 仙台市青葉区川内澁橋通1

TEL/022-221-5651 FAX022-221-5686

Eメール/qqnt4329@wonder.ocn.ne.jp

同窓会ML/nikodousokai@googlegroups.com(詳しくはp32)

第 3 号議案

●平成26年度事業計画

4月25日	金	大運動会(活動助成)	本校校庭	
5月1日	水	創立114周年記念講演会 NHKエグゼクティブ アナウンサー 高25回 伊藤博英 氏	本校講堂	13時15分
5月7日	水	当番回期第二回打ち合わせ会 (高25,26,37,38,49,50回)	北陵館	19時30分
5月11日	土	定期戦祝勝会	Kスタ宮城	16時00分
5月17日	土	定例評議員会	江陽グランドホテル	15時00分
5月25日	日	対一同窓会ゴルフ対抗戦	仙台CC名取コース	
6月2日	月	同窓会報第47号発行		
6月25日	水	当番回期第三回打ち合わせ会 (高25,26,37,38,49,50回)	北陵館	19時30分
7月2日	水	当番回期第四回打ち合わせ会 (高25,26,37,38,49,50回)	北陵館	19時30分
7月5日	土	総会 (p19参照) 講演会 クラブ活動後援会への寄付 (校内ツアー)	江陽グランドホテル	17時00分
9月6日 9月7日	土 日	北陵祭 (同窓会ブース開設)	仙台二高	
11月19日	木	当番回期第一回打ち合わせ会 (高26,27,38,39,50,51回)	北陵館	19時30分
12月17日	水	当番回期第二回打ち合わせ会 (高26,27,38,39,50,51回)	北陵館	19時30分
1月21日	木	当番回期第三回打ち合わせ会 (高26,27,38,39,50,51回)	北陵館	19時30分
1月23日	金	PTA同窓会合同懇親会 (p19上参照)	江陽グランドホテル	18時20分
2月27日	金	同窓会入会式	本校講堂	10時00分
理事会開催(4/10, 5/7, 6/25, 7/2, 8/13, 9/17, 10/15, 11/19, 12/17, 1/21, 2/18, 3/18)			北陵館	

◆年間行事予定

定期戦祝勝会やゴルフ対抗戦などのイベントは、時期が近づくとホームページやメール等でご案内をします。また、初冬に発行予定のニュースレター(仮称)でもご案内しますので、奮ってご参加下さい。

●評議員名簿

回期	氏名
中40	桂重俊
中41	欠員
中42	欠員
中43	欠員
中44	石井敏夫
中45	欠員
中46	桃生和夫
中47	欠員
高1	欠員
高2	朝倉亮
高3	高橋正道、安達剛
高4	毛呂達夫
高5	小金澤紀光
高6	土岐満夫
高7	中谷義信、藤野尚之
高8	小山明恒
高9	渡辺和彦、相澤美智雄
高10	四倉政美、三井肇
高11	高石祥二
高12	米竹隆、岡崎忠

回期	氏名
高13	志賀従興
高14	磐井裕
高15	近藤尚武
高16	浅野安弘
高17	高橋賢
高18	梅津珪三、渡邊康之
高19	庄子友康、遠藤謙治
高20	半田賢、中島俊和
高21	内藤清秀、吉田憲三郎
高22	菊田健三、熊谷晴樹
高23	大友史祥、小野寺満明
高24	沼倉和彦、二本柳基
高25	斎基之、原敏紀
高26	木村清、角田哲
高27	鈴木裕
高28	岡崎正行、鶴飼克明
高29	稲辺和彦、永見幸久
高30	渡邊善夫
高31	太田康裕
高32	伊達久

回期	氏名
高33	松谷秀則、結城道広
高34	平野豊
高35	今野明典
高36	柳雅裕
高37	天江新太郎
高38	長谷川清人
高39	日下開
高40	大久耕
高41	菅沼恵一
高42	中久喜英夫
高43	渡邊勝宏
高44	田所直希
高45	花本耕之助
高46	小野光利
高47	八谷豊
高48	大張慎悟、武田力也
高49	落合和希、高田雄史
高50	橘大介
高51	平山雅史
高52	畠山拓也

回期	氏名
高53	栗原慶太
高54	三嶋廣人
高55	千葉祐介
高56	武藤卓
高57	京極自源
高58	相場峻
高59	蔡優広
高60	柴又賢史
高61	日置壮一郎、泉聖也
高62	添田敏寛
高63	佐久間俊平
高64	深松栄、徳永航平
高65	佐渡惠奈、佐藤泰史
高66	鈴木小夜、坂本宏司

◆評議員が二名制になっています
平成25年度の総会後から、各回期の評議員が二名となりました。まだ選出されていない回期の方は、お早めに選出していただき、事務局までご一報下さい。

評議員会
報告

平成二十六年第一回評議員会
平成二十六年五月十七日(土)十六時~
(江陽グランドホテル)

◆会長挨拶 大井龍司会長(高10回)

◆議長選出 磐井裕氏(高14回)

◆協議

第一号議案

二十五年事業報告(承認)

第二号議案

二十五年収支決算報告・監査報告(承認)

第三号議案

二十六年事業計画案(承認)
第四号議案
二十六年収支予算案(承認)
第五号議案

会則第八条(役員)の改正(支部選出の常任委員を評議員会に出席できるようにする(承認))

第六号議案

故菊地 喬様からの寄付金について(理事会に便途を一任)

◆連絡・報告

・同窓会総会特別講演・懇親会のご案内 齋 基之氏(高25回)

◆閉会挨拶 鈴木誠一副会長(高22回)

*閉会后、初めての試みとして評議員会メンバーによる懇親会を

開催し盛会でした。



理事会等 記録

- 平成二十五年六月十九日(水)
 - ・総会資料の再点検
 - ・総会・特別講演・懇親会の進行手順の確認
 - ・NY支部且英夫氏を囲む会
 - ・対一高同窓会ゴルフ対抗戦結果報告
- 平成二十五年八月七日(水)
 - ・総会、懇親会の総括
 - ・次期当番回期との顔合わせ懇親会
 - ・北陵祭の準備、展示用パネルの購入
 - ・支部からの常任委員選出
 - ・同窓会事務局の看板設置
 - ・支払承認伺い書の作成
 - ・仙台市役所北陵会、岩沼支部会の報告
 - ・現役生のアメリカ研修、OBとの懇親会報告
- 平成二十五年九月十一日(水)
 - ・北陵祭の総括
 - ・支払承認伺い書の様式決定
 - ・理事会運営内規集作成の進捗状況
 - ・支部常任委員選出
 - ・宮城県庁養賢会、岩手支部会出席報告
- 平成二十五年十月十日(木)
 - ・理事会運営内規集作成の検討
 - ・当番幹事・理事顔合わせ会
 - ・ホームページ担当の変更

- ・部活動全国大会参加激励金支出(化学部・囲碁部・数学甲子園)
- 平成二十五年十一月六日(水)
 - ・理事会運営内規(最終案)の検討
 - ・PT同窓案内と年会費納入の督促
 - ・支部常任委員選出
 - ・第二回評議員会の議案
- 平成二十五年十二月四日(水)
 - ・故菊地喬様からのご寄附の取り扱い
 - ・塩釜北陵会・市教委北陵会・東海北陵会出席報告
 - 平成二十六年一月十五日(水)
 - ・故菊地喬様からのご寄附の取り扱い
 - ・「メーリングリスト」サービス停止後の情報伝達
 - ・部活動全国大会参加激励金支出(将棋部)
- 平成二十六年二月五日(水)
 - ・PT同窓の総括
 - ・当番回期活動スケジュール
 - ・定期戦祝勝会、一・二高同窓会ゴルフ対抗戦
 - ・新卒業生の会費納入
 - ・「運営方針」のホームページ掲載
 - ・クラブ活動後援会への補助金増額(百万円)
 - ・岩手支部総会出席報告
- 平成二十六年三月十日(月)
 - ・同窓会ニュースレターの発刊
 - ・メーリングリストの移行作業

イベント 報告

- ・部活動全国大会参加激励金支出(スキー部)
- 平成二十六年四月十日(木)
 - ・新年度の会務分担
 - ・第一回評議員会の日程、議案
 - ・総会の日程、特別講演の講師
 - ・卓球部OB会設立総会
 - ・山形支部設立の進捗状況
 - ・北陵ドクター倶楽部復活進捗状況



●第三十一年全北陵ゴルフ大会
平成二十五年十月十四日(月)
仙台カントリー倶楽部名取コースにおいて、第三十一年全北陵ゴルフ大会が開催されました。秋晴れの下、四十四名の同窓生が参加し、和気藹々ながらも真剣なプレーを

- 平成二十六年五月七日(水)
 - ・第一回評議員会の準備
 - ・会報編集の進捗状況・今後の進め方
 - ・総会での特別講演者
 - ・総会当番回期との打ち合わせ(第二回)

●PTA・同窓会合同新年懇親会
報告
平成二十六年一月二十四日(金)
江陽グランドホテルにおいて、高25回、高37回を中心に、平成



二十六年仙台二高PTA同窓会合同新年懇親会が盛大に開催されました。くじびきで、二高オリジンルクッキーが大人気で、当選者に拍手がなりやみませんでした。締めは、応援団の旗振りの下で、「雨か嵐か」を大声で歌いあげました。

●一高・二高同窓会ゴルフ対抗戦
連覇!!
昨年引き続き「平成二十六年度一高・二高同窓会ゴルフ対抗戦」が五月二十五日(日)に仙台カントリー倶楽部名取コースにおいて開催されました。



一高四十五名、二高五十一名の計九十六名が参加し、爽やかな新緑のもと熱戦が繰り広げられ、両校同窓会の交流が深められました。団体戦は、各校上位10名のグロ

ス合計で競われ、二高803・一高801で二高同窓会が大差で連覇を果たしました。個人戦は、新ペリア方式で争われ、鎌田稔氏（二高21回）が優勝。表彰式で大井会長は「今後もこの対抗戦の回を重ねていき、両校同窓会の交流を深めていきたい」と挨拶。懇親の後、来年の再会を約して散会となりました。来年は五月二十四日（日）仙台カントリー倶楽部名取コースの予定。なお、今回も対抗戦の企画・準備には全北陵ゴルフ会事務局の皆様の大なたご協力があったことを付記します。

PTA・同窓会 合同新年懇親会 のご案内

平成二十七年一月二十三日（金）に、恒例のPTA・同窓会合同新年懇親会を開催します。

会場は、例年どおり、江陽グランドホテルで調整中です。

詳細は、決まり次第ホームページ等で案内する予定です。

今から日程を空けておいていただくと幸いです。

平成26年度 同窓会総会のご案内

1. 日 時：平成26年7月5日（土） 総 会17時（受付開始は16時30分）
特別講演17時45分
懇 親 会19時00分
2. 場 所：江陽グランドホテル《地下鉄広瀬通下車 西1番出口徒歩0分》
TEL：022-267-5111
3. 懇親会費：6,000円（学生の方は2,000円）
4. 申込締切：6月27日（金）
★懇親会費は当日、会場でお支払い下さい。
★出席申込は、下記の申込先へFAX、電話又はEメールでお願いします。
5. 申 込 先：〒980-8631 仙台市青葉区川内澱橋通1
仙台二高同窓会事務局 TEL 022-221-5651 FAX022-221-5686
Eメール qqnt4329@wonder.ocn.ne.jp
6. 当番回期：高25、26、37、38、49、50回
上記回期の方々には評議員、常任委員を中心にご協力をお願いします。
7. 関連企画

創会記念講演会 『震災3年を経て、福島（南相馬市）の今』

南相馬市小高区 今野外科医院 院長（現在、梁川病院院長） 今野 明（高25回）
南相馬市市議会議員 鈴木 昌一（高25回）
NHKエグゼクティブ・アナウンサー NHK福島放送局 伊藤 博英（高25回）

福島県南相馬市小高区は、原発事故により「避難指示区域」に指定され、その後「警戒区域」を経て、現在は「帰還困難区域」以外は、自由に区域内に立ち入ることが可能になりました。同地区で外科医院を開業していました今野君と、被災から現在まで復旧に努めてきました市議会議員の鈴木君に被災の状況や、現在の復興状況を講演していただきます。

さらに今回は、最初の赴任地、福島に自ら希望して東京放送局から異動してきた伊藤君に、講演のコーディネーターをお願いしました。

- ・母校案内ツアー（当日総会前実施：二高正面玄関前15時集合）

同期の方、クラブの方、お誘い合わせの上、多数ご参加ください。



近年、会費納入が増えず、同窓会活動は苦しい台所事情が続いています。二十、二十一年度と会費納入者が三千人を大きく割り込み、二十二、二十三年度、冬号に納入呼びかけの記事を掲載し、払込用紙を同封したところ三千人前後に回復しましたが、さらなる増収が必要です。

会報を読まれた皆さんが一人でも多く会費を納めていただけるよう望みます。納入は、会報に同封した払込用紙で郵便局からでもできますし、銀行口座もご利用いただけます。銀行口座に納める際は、振込手数料を差し引いた額を振り込んでください。また、振込用紙には、お名前のほか、卒業回期（または卒業年）をご記入ください。

振込口座は次の通りです。

◇七十七銀行 芭蕉の辻支店
普通口座
口座番号 〇〇九七八四五
宮城県仙台第二高等学校
同窓会
会長 大井 龍司

平成25年度 同窓会費納入状況

回期	会報 発送数	口数	入金額
中 29	6	1	3,000
30	4	0	0
31	4	0	0
32	5	2	6,000
33	7	0	0
34	12	3	9,000
35	10	0	0
36	10	1	3,000
37	16	2	6,000
38	18	2	6,000
39	19	5	15,000
40	35	8	24,000
41	31	10	30,000
42	40	18	54,000
43	43	14	42,000
44	61	26	78,000
45	65	22	66,000
46	74	32	96,000
47	90	25	75,000
高 1	88	24	72,000
2	125	48	144,000
3	144	66	198,000
4	169	86	258,000
5	159	67	201,000
6	186	84	252,000
7	151	58	174,000
8	186	71	213,000
9	192	80	240,000
10	216	96	288,000

回期	会報 発送数	口数	入金額
11	22	114	342,000
12	234	94	282,000
13	198	79	237,000
14	224	92	276,000
15	217	86	258,000
16	222	77	231,000
17	223	84	252,000
18	217	83	249,000
19	190	73	219,000
20	182	55	165,000
21	248	86	258,000
22	279	101	303,000
23	185	59	177,000
24	194	58	174,000
25	204	60	180,000
26	208	55	165,000
27	214	33	99,000
28	193	51	153,000
29	185	35	105,000
30	194	46	138,000
31	184	32	96,000
32	222	45	135,000
33	207	42	126,000
34	195	35	105,000
35	206	35	105,000
36	204	35	105,000
37	201	26	78,000
38	193	27	81,000
39	196	24	72,000

回期	会報 発送数	口数	入金額
40	213	36	108,000
41	205	15	45,000
42	225	15	45,000
43	200	24	72,000
44	196	19	57,000
45	234	16	48,000
46	216	25	75,000
47	239	23	69,000
48	226	20	60,000
49	231	16	48,000
50	205	13	39,000
51	206	17	51,000
52	200	18	54,000
53	216	6	18,000
54	228	15	45,000
55	220	20	60,000
56	232	19	57,000
57	241	24	72,000
58	254	29	87,000
59	274	25	75,000
60	272	34	102,000
61	275	32	96,000
62	278	40	120,000
63	291	52	156,000
64	293	66	198,000
65	319	85	255,000
回期記載なし			36,000 円
合計			9,873,000 円

一般会計 平成25年度収支決算報告

(平成25年 4 月 1 日～平成26年 3 月31日)

(単位：円)

区 分	項 目	予 算 額 (A)	実 績 額 (B)	(B) - (A)	26 年度予算案
収 入	前年度繰越金	2,428,390	2,428,390	0	6,178,346
	年会費 (人 数)	9,000,000 (3,000人)	9,873,000 (3,289人)	873,000 (289人)	10,200,000 (3,400人)
	入会金 (人 数)	1,152,000 (320人)	1,126,800 (313人)	- 25,200 (- 7人)	1,152,000 (320人)
	受取利息	1,000	272	- 728	1,000
	寄付	0	2,000,000	2,000,000	0
	名簿等売上金	0	0	0	0
	その他収入	200,000	46,200	- 153,800	50,000
	特別会計受入金	0	0	0	0
	合計 (C)	12,781,390	15,474,662	2,693,272	17,581,346
	支 出	同窓会報発行費 (発 送 通 数)	4,000,000 (16,000通)	3,250,057 (14,735 通)	- 749,943 (- 1,265 通)
同窓会ニュースレター発行費 (発 送 通 数)		0	0	0	1,500,000
校内活動助成費		1,300,000	1,360,000	60,000	1,500,000
卒業記念品		550,000	499,575	- 50,425	550,000
総会旅費補助		250,000	64,440	- 185,560	250,000
総会補填 (総会出席者数)		450,000 (100人)	- 73,918 (140人)	- 523,918 (40人)	450,000
P T 同懇補填 (出 席 者 数)		200,000 (100人)	43,905 (110人)	- 156,095 (10人)	200,000
支部総会等旅費		500,000	161,910	- 338,090	500,000
支部総会等祝儀		200,000	150,000	- 50,000	200,000
会議費		150,000	123,400	- 26,600	150,000
慶弔費		200,000	245,256	45,256	250,000
人件費		720,000	668,894	- 51,106	720,000
事務消耗品費		100,000	56,613	- 43,387	100,000
切手葉書送料		150,000	34,190	- 115,810	150,000
電話料		350,000	309,300	- 40,700	350,000
振込手数料		400,000	358,160	- 41,840	400,000
設備費		500,000	308,438	- 191,562	200,000
雑費		150,000	184,188	34,188	200,000
旅費		100,000	0	- 100,000	100,000
教育問題研究費		200,000	0	- 200,000	200,000
同窓会活性化対策費		200,000	41,353	- 158,647	300,000
特別会計繰入		0	0	0	2,000,000
予備費		2,111,390	1,510,555	- 600,835	3,311,346
合計 (D)	12,781,390	9,296,316	- 3,485,074	17,581,346	
繰越金 (C) - (D)	0	6,178,346			
残 高 H25.3.31	現金(事務局)		41,810		
	現金(事務所)		118,871		
	普通預金(七十七)		2,233,585		
	郵便振込(泉南中山)		3,784,080		
	郵便貯金(大町)		0		
	仮払金		0		
	未払金		0		
	総会勘定 差引合計		6,178,346		

特別会計 平成25年度収支決算報告

(平成25年 4 月 1 日～平成26年 3 月31日)

(単位：円)

区 分	項 目	収支決算額
収 入	前年度繰越金	13,393,243
	預金利息	2,664
	合 計	13,395,907
	合 計	0
次期繰越金		13,395,907
預金等残高 (H 26. 3 月末)	定期預金(七十七銀行)	13,200,000
	普通預金(七十七銀行)	195,907
	合 計	13,395,907

理事会より

山形支部開設へ！

今年三月二十六日午後 大井会長、栞澤副会長、前野理事の三名が山形支部立ち上げの相談の為に山形を訪問した。訪問先は栗野学



氏（高26回）（山形きらやか銀行頭取）と仙道富士郎氏（高9回）（元山形大学学長）のお二人。お二人には会長が以前から山形支部創設の必要性と、立ち上げについての協力を要請しており快諾をいただいていた経緯があった。特に栗野氏からは支部創設について銀行としても事務局機能の面で協力したい。という大変心強い申し出があったもの。

当日きらやか銀行の頭取室を訪問したところ、たまたま打合せ中だったじもとホールディングスグループである仙台銀行頭取の鈴木隆氏（高26回）も同席してしばらく歓談し、今後に向けて活動を開始したいとお話をいただいた。続いて仙道氏が現在施設長をしておられる上市市にある医療法人の施設を訪問し面談、同氏からは栗野氏と連携してなるべく早期に世話を組む組織し支部創設に向けてアクションを起こしたい、との非常に前向きなお話を頂戴した。お二人とも以前から山形に支部があって当然との認識を持っておられ、今回

の会長からの依頼に対しては大変積極的にとらえており、今後は同窓会本部とコンタクトを取りながら進めて行くべしとの認識が共有でき、非常に有効な山形訪問になったことを報告します。今後山形在住で支部立ち上げにご協力、賛同いただける方は是非本部事務局までご連絡ください。

北陵ドクター倶楽部（仮称）設立の動き

会員諸氏がご存知のように、同窓会は海外を含めた県内外支部、職域支部、クラブOB会、同期会さらには同職種における支部等によって支えられています。以前、同職種支部の一つとして仙台二中・二高卒業生の医師を会員とする「北陵ドクター会」が存在していましたが、このところその活動が途絶えたままになっていました。今般、同窓の医師間の親睦・交流・連携および母校の発展に寄与することを目的とした北陵ドク



定期戦祝勝会の開催について

同窓会では、「活性化」の一環として、二高・一高硬式野球定期戦の終了後に、同窓会と応援団幹部OB会の共同開催で、イギリス・ネストにおいて定期戦祝勝会を開催しています。第一回の昨年は五月十一日（土）に、五十二名が参加し「準優勝祝勝会」を、第二回となる今年は、五月十日（土）に五十三名が参加し、文字どおりの「祝勝会」を開催しました。

来年以降も左記のとおり開催しますので、奮って参加して下さい。日時：平成二十七年五月九日（土）の試合終了後（十六時頃から）

場所：イギリス・ネスト（ゴポスタ宮城内）
会費：五〇〇〇円程度
申込方法：同窓会ホームページでご案内します（四月上旬頃）

硬式野球定期戦は、毎年5月の第1土曜日に開催されます。



卒業式・同窓会入会式に参加して

活性化担当副会長 鈴木 誠一（高22回）

平成二十六年三月一日（土）第六十六回仙台二高卒業式が挙行されました。

男女共学から六年目、四回目の女子卒業生を出す卒業生三一二名の第六十六回仙台二高卒業式に、副会長の一人として参列させていただきました。

渡邊幸雄校長から卒業証書授与の後、大井龍司同窓会会長から、温かみのある格調高いご祝辞がございました。大変厳粛な中にもユーモアあふれる卒業式で、最後の応援歌「雨か嵐か」を斉唱しました。ジーンと心に迫るものがありました。



卒業式



同窓会入会式

卒業式前日の二月二十八日（金）に、卒業式に先だって、仙台二高同窓会入会式が挙行されました。活性化担当副会長として、仙台二高同窓会の概要を説明させていただきました。今年初めての試みで、十三名の評議員の皆様、同窓会入会式に参列していただきました。校長室で高六十六回の評議員、常任委員の皆様と、一緒に写真に収まりました。仙台二高六十六回生の皆様、ご卒業誠におめでとうございます。

平成二十六年度

入学式行われる

平成二十六年四月八日（火）仙台二高体育館において、仙台二高入学式が挙行されました。うれしい入学式を迎えて、渡邊幸雄校長と大井龍司同窓会会長から格調高い御挨拶がございました。ご入学誠におめでとうございます。



入学式

在籍生徒数 平成26年 4 月 1 日 現在
普通科 1 学年 8 クラス（定員320名）

1 年	320 名	男子 191 名、 女子 129 名
2 年	329 名	男子 205 名、 女子 124 名
3 年	314 名	男子 188 名、 女子 126 名
計	963 名	男子 584 名、 女子 379 名

定期戦

大逆転勝利！

平成二十六年五月十日（土）第六十九回仙台二高・一高硬式野球定期戦が、今年から改名した「コボスタ宮城」で開催されました。昨年の「雨中の決戦」とは一転、気持ちの良い青空が広がり、まさに「風薫る五月」という表現がピッタリの天気の中、両校による熱戦が繰り広げられました。

試合展開は、序盤の三回に一高に先制を許し、六回を終えて1-7と劣勢が続きました。しかし、七回に一挙六点を返して同点に追いつくと、もう二高の勢いは止まりませんでした。八回に三点、九回にも四点を加え、終わってみれば



ば14-10という、歴史的とも言っても良い程の大逆転勝利を納めました。三年振りに雪辱を果たし、「勝利の歌」をコボスタ宮城の青空に、高らかに響かせました。

3 部定期戦結果速報

試合結果

バレーボール 二高 1 - 3 一高 <負け>
 柔道 二高 一高2人残し 一高 <負け>
 バスケットボール 二高 71-75 一高 <負け>



過去 3 年間の大学入試合格状況

() 内は現役内数

年度別				年度別				年度別				
大学	26年 3 月	25年 3 月	24年 3 月	大学	26年 3 月	25年 3 月	24年 3 月	大学	26年 3 月	25年 3 月	24年 3 月	
	合格者数	合格者数	合格者数		合格者数	合格者数	合格者数		合格者数	合格者数	合格者数	
国立大学	251 (144)	236 (131)	218 (137)	国立大学	251 (144)	236 (131)	218 (137)	私立大学	491 (154)	371 (124)	435 (90)	
公立大学	18 (10)	11 (5)	20 (11)	公立大学	18 (10)	11 (5)	20 (11)	専修・その他の学校	3 (1)	3 (2)	1	
私立大学	491 (154)	371 (124)	435 (90)	私立大学	491 (154)	371 (124)	435 (90)	総計	763 (309)	621 (262)	674 (238)	
大学校・専修・その他の学校	3 (1)	3 (2)	1	大学校・専修・その他の学校	3 (1)	3 (2)	1					
総計	763 (309)	621 (262)	674 (238)	総計	763 (309)	621 (262)	674 (238)					
小樽商大	1			釧路公立大	1			聖心女子大			1 (1)	
北海道大	14 (8)	10 (5)	8 (5)	宮城大	4 (3)	3 (2)	2 (2)	専修大	1 (1)	1	6 (1)	
弘前大	6 (3)	4 (2)	4 (1)	国際教養大	1 (1)	1 (1)	2 (1)	創価大	1 (1)	3 (3)		
岩手大	6 (6)	2	7 (6)	山形県立医大	1 (1)			多摩美術大			1	
東北大	文	7 (5)	8 (8)	6 (4)	福島県立医大	3	5 (1)	5 (1)	中央大	59 (21)	34 (16)	61 (8)
	法	7 (5)	5 (3)	8 (7)	茨城県立医大			1 (1)	津田塾大	13 (3)	5	1 (1)
	経済	10 (7)	12 (7)	16 (10)	前橋工大	1 (1)			帝京大		1	1 (1)
	教育	2	7 (4)	6 (6)	高崎経済大	1	1 (1)	2 (2)	東海大	11 (4)	2 (1)	3
	理	7 (4)	10 (8)	6 (6)	首都大東京			3 (2)	東京医科大	1		2
	工	39 (23)	31 (23)	35 (27)	横浜市立大	1 (1)			東京慈恵会医大	2	2	1
	医	21 (8)	14 (6)	17 (7)	金沢美術工芸大	1 (1)			東京家政大	1 (1)		
	歯	6 (2)	6 (1)	5 (3)	都留文科大		1	1 (1)	東京女子大	4 (2)	2 (1)	1
	薬	5 (5)	7 (4)	1 (1)	静岡県立大	1		3 (1)	東京女子医科大	1	2 (1)	
	農	10 (4)	4 (3)	3 (2)	滋賀県立大	1 (1)			東京電機大		2 (1)	1
東北大小計	116 (65)	115 (72)	106 (75)	京都府立大	1 (1)			東京都大	3		2 (1)	
宮城教育大	5 (4)	7 (5)	5 (5)	大阪府立大	1			東京農業大	11 (7)	3 (1)	9 (4)	
秋田大	1	3 (2)	5 (2)	神戸市外国語大			1	東京薬科大	1	1	1	
山形大	33 (17)	22 (8)	24 (13)	公立大学合計	18 (10)	11 (5)	20 (11)	東京理科大	73 (15)	37 (7)	45 (11)	
福島大		3 (2)	2 (1)	国公立大学合計	269 (154)	247 (136)	238 (148)	東邦大	1	1	1	
茨城大	1 (1)	1	1	酪農学園大			1 (1)	東洋大	2 (1)	2	3	
筑波大	1 (1)	6 (4)	1 (1)	北海道医療大		1		二松學舎大			1 (1)	
宇都宮大	3 (2)	2		岩手医科大	9	5	7	日本大	8 (5)	7 (2)	8	
埼玉大	3 (1)	4 (1)	5 (3)	仙台大		1 (1)		日本医科大	3	2		
千葉大	10 (6)	5 (3)	2 (2)	東北学院大	16 (2)	4 (2)	18 (5)	日本歯科大		5		
お茶の水女子大		1 (1)	1 (1)	東北工業大		1		日本女子大	1 (1)	4 (4)		
東京海洋大	1 (1)			東北福祉大	2 (2)		2	法政大	26 (7)	18 (8)	12 (4)	
電気通信大	2	1		東北薬科大	19 (6)	5 (1)	5	星薬大	1		1	
東京大	文Ⅰ	2 (1)	1	2 (1)	宮城学院女子大	1		1	明治大	55 (15)	36 (18)	59 (8)
	文Ⅱ		2 (1)	3 (3)	東北芸術工科大			1	明治学院大	1 (1)	2	1
	文Ⅲ	1 (1)	3 (1)	2 (1)	自治医科大		3 (1)	1 (1)	武蔵野音大	1 (1)		
	理Ⅰ	7 (5)	1 (1)	3	獨協医科大	3	1	7	立教大	12 (6)	28 (7)	5
	理Ⅱ	2 (2)	1	2 (1)	白鷗大			1	明治薬大	1		
	理Ⅲ				文星芸術大		1		立正大		1 (1)	
	(後期)				埼玉医科大		1		早稲田大	42 (16)	39 (16)	44 (13)
	東京大小計	12 (9)	8 (3)	12 (6)	文教大	1 (1)		1	神奈川大	1 (1)		
	東京医歯大	2 (1)	2	1 (1)	埼玉学園大		1		聖マリアンナ医大			1 (1)
	東京外語大	2 (1)			神田外語大		2 (2)		金沢医科大		1	1
東京学芸大	1		2 (1)	東京歯科大	1	2		松本歯科大		1		
東京芸術大			1	明海大	1 (1)			愛知学院大			1	
東京工業大	1 (1)	2 (2)	2 (2)	青山学院大	3 (2)	7 (4)	11 (6)	中京大			3	
東京農工大		2 (1)	1	学習院大	1	2		中部大			2	
一橋大	6 (6)	5 (1)	5 (2)	北里大	7 (1)	9 (2)		京都造形芸大	1 (1)			
横浜国立大		3 (1)	3 (1)	杏林大	3 (1)	1	2	同志社大	9 (4)	11 (3)	4	
新潟大	3 (2)	3 (2)	1	慶應義塾大	15 (5)	20 (5)	26 (7)	立命館大	19 (5)	15 (2)	16 (5)	
金沢大	2		1	工学院大	6 (3)		2	龍谷大			1	
岐阜大			1	國學院大	1 (1)	1 (1)	4 (3)	大阪工業大	1 (1)			
山梨大	1 (1)		1	国際基督教大		1 (1)	1 (1)	大阪工業大			6	
信州大	1	1 (1)	1	国士舘大			1	関西大		2	1 (1)	
静岡大	1			駒澤大	3 (1)	5 (2)	4 (1)	近畿大	1 (1)	1	1	
名古屋大		1 (1)	1 (1)	芝浦工大	23 (5)	13 (3)	13 (1)	甲南大	1 (1)			
京都大	9 (4)	11 (6)	6 (3)	順天堂大	3	1	1	神戸芸術工科大		1		
大阪大	1 (1)	5 (4)	2 (1)	上智大	2 (1)	5 (3)	3 (1)	神戸女学院大		3 (3)		
神戸大	3 (2)	5 (4)	1 (1)	昭和大		2 (1)	5 (1)	産業医大	1			
奈良女子大		1		昭和薬科大			1	久留米大			1	
鳥取大			1 (1)	成蹊大	1		2	私立大学合計	491 (154)	368 (124)	435 (90)	
岡山大			1 (1)	成城大		1	4 (1)	防衛大学校			1	
								防衛医科大	2	2 (1)		
								航空保安大学校	1 (1)			
								大学校合計	3 (1)	2 (1)	1	
								その他の大学		1 (1)		
								その他合計		1 (1)		
								合計	761 (262)	675 (238)	637 (271)	

部活動の記録／運動部成績

部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)
水 泳 部	400M リレー 第 7 位 (森戸文香・今野 葵・佐竹彩佳・山川莉奈) 400M メドレーリレー 第 8 位 (森戸文香・佐竹彩佳・山川莉奈・今野 葵) * 以上東北大会出場
	東北大会 男子 佐々木建晟 400M 自由形 10 位
	<水 球> 県高校総体 (6月30日 於仙南総合プール) 決勝 仙台二 3 - 4 柴田 東北総体兼インターハイ予選 (7月20~21日 於仙南総合プール) * 第 3 位 (6 チーム中)
	予選トーナメント 仙台二 14 - 9 秋田西 決勝リーグ 仙台二 8 - 2 黒沢尻工業 仙台二 4 - 9 柴田 仙台二 1 - 21 山形工業
	国体予選 (8月3~4日 於山形市総合運動公園屋外プール) 宮城県選抜選手として細井崇志出場 宮城県チーム結果 第 4 位 平成 25 年度功労賞 細井崇志
	新人大会・選手権等
	<競 泳> 県新人大会 男子 (総合 4 位 (70 点)) 新富健太 100M バタフライ 第 2 位 100M 自由形 第 3 位 佐々木建晟 100M 背泳ぎ 第 3 位 200M 背泳ぎ 第 3 位 永作太一 50M 自由形 第 4 位 400M リレー 第 3 位 (佐々木建晟・新富健太・植田雅大・永作太一) 400M メドレーリレー 第 4 位 (佐々木建晟・新富健太・植田雅大・永作太一) * 以上東北新人大会出場
	佐藤悠大 1500M 自由形 第 7 位 植田雅大 200M 自由形 第 8 位 400M 自由形 第 8 位 800M リレー 第 3 位 (佐々木建晟・植田雅大・新富健太・永作太一) * 以上入賞
	女子 (総合 7 位 (20 点)) 佐竹彩佳 200M 平泳ぎ 第 6 位 200M 個人メドレー 第 8 位 森戸文香 100M 背泳ぎ 第 7 位 200M 背泳ぎ 第 7 位 400M リレー 第 6 位 (森戸文香・武藤 栞・今野 葵・佐竹彩佳) 400M メドレーリレー 第 6 位 (森戸文香・佐竹彩佳・武藤 栞・今野 葵) * 以上入賞
	東北新人大会 男子 400M リレー 予選第 5 位 (決勝進出) 決勝第 5 位 (入賞) (新富健太・永作太一・植田雅大・佐々木建晟) 400M メドレーリレー 予選第 8 位 (決勝進出) 決勝第 7 位 (佐々木建晟・植田雅大・新富健太・永作太一)
<水 球> 県新人大会 (10月27日 於仙南総合プール) 決勝 仙台二 2 - 23 柴田 東北選手権大会 * 第 6 位 仙台二 1 - 11 青森ヤクルト SS 仙台二 2 - 9 秋田水球クラブ 仙台二 4 - 3 福島水球クラブ	
サ ッ カ ー 部	総合体育大会等 高校総体 * 県ベスト 16 地区予選 (4月29日~5月9日) 仙台二 7 - 0 仙台高専 仙台二 3 - 0 多賀城 仙台二 7 - 0 明成 仙台二 3 - 2 宮城県工業 県大会 1 回戦 (5月25日) 仙台二 7 - 0 名取北 2 回戦 (5月26日) 仙台二 0 - 4 利府

部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)
硬 式 野 球 部	総合体育大会等 第95回全国高等学校野球選手権記念宮城大会 2 回戦 仙台二 12 - 3 仙台高専広瀬 3 回戦 仙台二 1 - 9 気仙沼
	新人大会・選手権等 第7回春季宮城県高等学校野球中部地区大会 2 回戦 仙台二 0 - 10 東北 敗者復活 1 回戦 仙台二 1 - 11 仙台一
	第7回秋季宮城県高等学校野球中部地区大会 1 回戦 仙台二 4 - 5 多賀城 敗者復活 1 回戦 仙台二 13 - 4 宮城広瀬 敗者復活 2 回戦 仙台二 4 - 5 東北学院榴ヶ岡
	定期戦等 仙台二 9 - 20 仙台一 (戦後通算 29 勝 30 敗 9 引き分け)
軟 式 野 球 部	総合体育大会等 宮城県高校総体 (5月31日~6月5日 松島・利府球場) 1 回戦 仙台二 7 - 3 仙台青陵 2 回戦 仙台二 1 - 3 東北学院
	第58回全国高等学校軟式野球選手権 (7月16~20日 松島・利府球場) 1 回戦 仙台二 4 - 1 仙台一 2 回戦 仙台二 5 - 3 泉 準決勝 仙台二 7 - 4 仙台 * 46 年ぶり 2 回目 宮城県代表 (2 校) となる。
	第58回全国高等学校軟式野球選手権東北大会 (7月30~31日 仙台市民球場) 1 回戦 仙台二 2 - 3 平工業 (福島)
	新人大会・選手権等 秋季大会 1 回戦 仙台二 0 - 7 仙台工業
定期戦等 仙台二 0 - 3 仙台一 (戦後通算 29 勝 24 敗)	
陸 上 競 技 部	総合体育大会等 県総体 5000mw 佐藤悠大 3 位 走幅跳 菊地遼介 5 位 800m 佐藤宏夢 7 位 5000mw 白井 花 7 位 三段跳 菊地遼介 7 位
	東北総体 5000mw 佐藤悠大 20 位 走幅跳 菊地遼介 33 位
	新人大会・選手権等 県新人大会 男子総合 6 位 走高跳 鈴木琢斗 1 位 800m 佐藤宏夢 2 位 3000m 嶋田拓郎 3 位 5000m 相澤拓実 4 位 5000mw 白井 花 4 位 400mR 本名・石塚・加納・佐藤 5 位 400mH 浅見大輔 7 位 100mH 佐々木麻悠子 7 位 1600mR 高橋・大阪・菊池・浅尾 8 位
	東北新人大会 5000mw 白井 花 12 位 5000m 相澤拓実 16 位 3000m 嶋田拓郎 22 位 800m 佐藤宏夢 予選敗退 走高跳 鈴木琢斗 予選敗退 全国高校駅伝競走大会宮城県予選会 男子 6 位 女子 17 位
定期戦等 総合得点 仙台二 146 点 - 仙台一 117 点 仙台二高勝利	
水 泳 部	総合体育大会等 <競 泳> 男子 菅原大貴 100M 平泳ぎ 第 5 位 200M 平泳ぎ 第 4 位 佐々木建晟 100M 背泳ぎ 第 4 位 400M 自由形 第 5 位 新富健太 50M 自由形 第 7 位 100M 自由形 第 6 位 永作太一 100M 自由形 第 8 位 400M リレー 第 4 位 (新富健太・永作太一・菅原大貴・佐々木建晟) 800M リレー 第 4 位 (佐々木建晟・植田雅大・新富健太・永作太一) 400M メドレーリレー 第 3 位 (佐々木建晟・菅原大貴・新富健太・永作太一) * 総合第 4 位 * 以上東北大会出場
	女子 佐竹彩佳 200M 平泳ぎ 第 8 位

部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)	部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)
バドミントン部	男子シングルス 田幡 光 小原光暁 武田聖真 南元篤史 須藤僚介 * 4 回戦進出 女子ダブルス 黒坂日菜子・伊藤綾乃組 浅沼なつみ・星佳奈恵組 廣田光紀・山田優佳組 * 3 回戦進出 女子シングルス 浅沼なつみ * 4 回戦進出 県新人大会個人対抗戦 男子ダブルス 小原光暁・武田聖真組 * 2 回戦進出 田幡 光・鈴木 然組 * 初戦敗退 男子シングルス 田幡 光 * 初戦敗退 女子ダブルス 浅沼なつみ・星佳奈恵組 * 2 回戦進出 女子シングルス 浅沼なつみ * 初戦敗退 県新人大会学校対抗戦 男子 1 回戦 仙台二 1 - 3 仙台三桜 (第 5 シード) 女子 1 回戦 仙台二 3 - 1 明成 2 回戦 仙台二 0 - 3 聖和学園 (第 3 シード)	ソフトテニス部	総合体育大会等 県高校総体 男子団体 2 回戦 仙台二 1 - 2 築館 男子個人戦 小田島祥太・日野大河組 ベスト 32 新人大会・選手権等 県新人大会 男子団体 1 回戦 仙台二 1 - 2 宮城県工業
	総合体育大会等 宮城県高校総体卓球競技仙塩地区予選 (5月9~11日) 男子団体 * 優勝 準決勝 仙台二 3 - 1 利府 決勝 仙台二 3 - 1 東北学院 男子ダブルス 県大会無条件 三浦・佐藤悠 予選通過 田村・徳永 男子シングルス 県大会無条件 佐藤悠・三浦 女子団体 敗者復活戦 仙台二 3 - 0 仙台商 予選通過 女子シングルス 予選通過 山田 宮城県高校総体卓球競技 (6月1~3日) 男子団体 * 準優勝 * 東北大会出場権獲得 準決勝 仙台二 3 - 1 聖和学園 決勝 仙台二 1 - 3 古川学園 男子ダブルス * 第 3 位 * 東北大会出場権獲得 準決勝 三浦・佐藤悠 0 - 3 菅原・鈴木 (古川学園) 男子シングルス 5 回戦 佐藤悠 3 - 0 黒澤 (古川工) 三浦 0 - 3 鈴木 (古川学園) * ベスト 16 代表決定戦 三浦 3 - 2 佐藤文 (迫桜) * 東北大会出場権獲得 準々決勝 佐藤悠 3 - 1 土田 (古川学園) 準決勝 佐藤悠 1 - 3 高橋 (古川学園) * 第 3 位 * 東北大会・インターハイ出場権獲得 女子団体 2 回戦 仙台二 0 - 3 仙台一 新人大会・選手権等 東北選手権大会 (6月21~23日) 男子団体 1 回戦 仙台二 0 - 3 帝京安積 男子ダブルス 2 回戦 三浦・佐藤悠 1 - 3 大内・中鉢 (福島工) 男子シングルス 1 回戦 佐藤悠 3 - 0 甘野 (秋田商) 2 回戦 佐藤悠 1 - 3 沼村 (東奥学園) インターハイ (7月29日~8月2日) 男子シングルス 1 回戦 佐藤悠 3 - 2 加藤 (長野・松商学園) 2 回戦 佐藤悠 3 - 2 大田 (熊本・慶誠) 3 回戦 佐藤悠 1 - 3 宮本 (京都・東山) 団体少年の部宮城県予選会 (7月13~14日) 男子シングルス 1 位 佐藤悠 (決勝リーグ 7 勝 0 敗) * 団体少年男子団体出場		
弓道部	総合体育大会等 県高校総体 男子団体 (清水・吾妻・加藤・阿部・小林・佐藤・伊藤) 一次予選 20 射 12 中で通過 二次予選 40 射 25 中で 8 位通過 準々決勝 60 射 36 中で 10 位不通過 男子個人 清水 ベスト 16 (射道優秀賞受賞) 阿部 一次予選不通過 女子団体 (境澤・冬木・小野・石川・小出・間木・白石) 一次予選 20 射 7 中で通過 二次予選 40 射 15 中で不通過 女子個人 間木 二次予選不通過 冬木 一次予選不通過 石川 一次予選不通過 新人大会・選手権等 第64回仙台北弓道大会 (9月8日 泉弓道場) 男子個人 安藤晃太 3 位 第11回仙台市ジュニア弓道選手権大会 (10月5日 泉弓道場) 女子個人 谷ちひろ 2 位 県新人戦 男子団体 (井深・千葉・吉田・安野・加藤・佐藤・中川) 一次予選 20 射 9 中で通過 二次予選 40 射 18 中で 14 位タイ通過 準々決勝 60 射 27 中で不通過 男子個人 加藤泰樹 二次予選不通過 女子団体 (奈良・庄子・小野・半田・谷・小松・日野) 一次予選 20 射 7 中で通過 二次予選 40 射 19 中で 13 位タイ通過 準々決勝 60 射 28 中で不通過 女子個人 奈良理紗子 一次予選不通過 半田結花 一次予選不通過	卓球部	総合体育大会等 県大会個人戦 (5月24~25日 男子塩釜ガス体育館 女子仙台市体育館) 男子ダブルス 須藤孝介・瀬谷敦之組 * 4 回戦進出 * ベスト 32 男子シングルス 須藤孝介 * 2 回戦進出 女子ダブルス 工藤理沙・黒坂日菜子組 森 瑞絵・山下有美組 * 2 回戦進出 女子シングルス 藤井春帆 * 2 回戦進出 県大会学校対抗戦 (6月1日~ 仙台市体育館) 男子学校対抗戦 1 回戦 仙台二 0 - 3 宮城県工業 女子学校対抗戦 1 回戦 仙台二 1 - 3 学院榴ヶ岡 新人大会・選手権等 県選手権大会 (4月26~28日) 男子塩釜ガス体育館 女子セキスイハイムスーパーアリーナ) 男子ダブルス 須藤孝介・瀬谷敦之組 正岡 隼・米田 丈組 * 4 回戦進出 * ベスト 64 男子シングルス 茂泉和磨 * 4 回戦進出 女子ダブルス 工藤理沙・黒坂日菜子組 * 3 回戦進出 県ジュニア選手権大会 (7月29~31日) 男子塩釜ガス体育館 女子セキスイハイムスーパーアリーナ) 男子ダブルス 田幡 光・鈴木 然組 * 4 回戦進出 * ベスト 64
	総合体育大会等 第62回宮城県高校総体柔道競技大会 (6月1~3日 中新田体育館) 個人戦 男子 60kg 級決勝トーナメント 1527 菅原優介 1 回戦 堀内楓雅 (古川工業) 1 本負け 男子 81kg 級決勝トーナメント 2238 山田晃誠 * ベスト 16 1 回戦 今野翔太 (加美農業) 優勢勝ち 2 回戦 遠藤寛和 (志津川) 1 本負け 新人大会・選手権等 第115回仙塩地区柔道大会 (4月28日) 団体戦 (仙台二・仙台三・仙台西・仙台東合同チーム) 1 回戦 合同 2 - 0 仙台工業 2 回戦 合同 0 - 5 宮城工業 個人戦 81kg 級 2238 山田晃誠 * ベスト 8 1 回戦 源美 萩 (多賀城) 優勢勝ち 2 回戦 内ヶ崎蒼太 (宮城工) 優勢負け 第68回 国民体育大会少年柔道競技 第2次選考会 (7月13日) 男子 90kg 級 2238 山田晃誠 1 回戦 及川巧人 (宮城水産) 1 本負け 払い巻き込み		
柔道部	総合体育大会等 第62回宮城県高校総体柔道競技大会 (6月1~3日 中新田体育館) 個人戦 男子 60kg 級決勝トーナメント 1527 菅原優介 1 回戦 堀内楓雅 (古川工業) 1 本負け 男子 81kg 級決勝トーナメント 2238 山田晃誠 * ベスト 16 1 回戦 今野翔太 (加美農業) 優勢勝ち 2 回戦 遠藤寛和 (志津川) 1 本負け 新人大会・選手権等 第115回仙塩地区柔道大会 (4月28日) 団体戦 (仙台二・仙台三・仙台西・仙台東合同チーム) 1 回戦 合同 2 - 0 仙台工業 2 回戦 合同 0 - 5 宮城工業 個人戦 81kg 級 2238 山田晃誠 * ベスト 8 1 回戦 源美 萩 (多賀城) 優勢勝ち 2 回戦 内ヶ崎蒼太 (宮城工) 優勢負け 第68回 国民体育大会少年柔道競技 第2次選考会 (7月13日) 男子 90kg 級 2238 山田晃誠 1 回戦 及川巧人 (宮城水産) 1 本負け 払い巻き込み	バドミントン部	総合体育大会等 県大会個人戦 (5月24~25日 男子塩釜ガス体育館 女子仙台市体育館) 男子ダブルス 須藤孝介・瀬谷敦之組 * 4 回戦進出 * ベスト 32 男子シングルス 須藤孝介 * 2 回戦進出 女子ダブルス 工藤理沙・黒坂日菜子組 森 瑞絵・山下有美組 * 2 回戦進出 女子シングルス 藤井春帆 * 2 回戦進出 県大会学校対抗戦 (6月1日~ 仙台市体育館) 男子学校対抗戦 1 回戦 仙台二 0 - 3 宮城県工業 女子学校対抗戦 1 回戦 仙台二 1 - 3 学院榴ヶ岡 新人大会・選手権等 県選手権大会 (4月26~28日) 男子塩釜ガス体育館 女子セキスイハイムスーパーアリーナ) 男子ダブルス 須藤孝介・瀬谷敦之組 正岡 隼・米田 丈組 * 4 回戦進出 * ベスト 64 男子シングルス 茂泉和磨 * 4 回戦進出 女子ダブルス 工藤理沙・黒坂日菜子組 * 3 回戦進出 県ジュニア選手権大会 (7月29~31日) 男子塩釜ガス体育館 女子セキスイハイムスーパーアリーナ) 男子ダブルス 田幡 光・鈴木 然組 * 4 回戦進出 * ベスト 64

部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)	部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)
フ ェ ン シ ン グ 部	<p>男子個人サーブル 第4位 板垣達夫</p> <p>女子個人エペ 第4位 島倉奈緒子</p> <p>女子個人サーブル 第3位 宮本真緒 (東北大会出場)</p> <p>男子団体フルール (孫 祖文・萱場祐樹・山根康平・酒井皓平) * 1 回戦敗退</p> <p>1 回戦: 0 - V (仙台高) 女子団体フルール (島倉奈緒子・土谷智恵理・手代木さつき・川元美咲) * 第 2 位 * 東北大会出場</p> <p>1 回戦: V - 3 (仙台南高) 準決勝: V - 1 (仙台三高) 決 勝: 1 - V (気仙沼高)</p> <p>平成25年度全国高等学校総合体育大会 (8月3~7日 大分県日田市総合体育館)</p> <p>男子個人エペ 孫祖文 *ベスト16 予選プール (4勝1敗) 予選トーナメント1回戦 V15 - 10 田崎(栃木翔南) 予選トーナメント2回戦 7 - V8 角田(群馬・沼田)</p> <p>新人大会・選手権等</p> <p>第51回東北高等学校フェンシング選手権大会 (6月21~24日 米沢市営体育館)</p> <p>男子個人エペ 第5位 孫 祖文 女子個人サーブル 第5位 宮本真緒 女子団体フルール (島倉奈緒子・川元美咲・土谷智恵理・手代木さつき) * 1 回戦敗退</p> <p>2 - V (青森・黒石高)</p> <p>第68回国民体育大会フェンシング競技宮城県代表選手 最終選考会 兼 第40回東北総合体育大会フェンシング 競技出場選手選考会 (7月6~7日 グランディ21)</p> <p>少年の部 男子フルール 第5位 酒井皓平 女子フルール 第2位 土谷智恵理 *ミニ国体出場 第3位 川元美咲</p> <p>平成25年度宮城県民体育大会フェンシング競技 (8月10~11日 宮城野体育館)</p> <p>個人フルール 少年の部 男子シニア 4位 酒井皓平 男子ジュニア 4位 岡村和礼 女子ジュニア 1位 土谷智恵理 3位 川元美咲 4位 澁谷菜由</p> <p>団体フルール 少年女子 1位 仙台二高Aチーム (川元・澁谷・土谷) 3位 仙台二高Bチーム (阿部・手代木・宮本)</p> <p>第40回東北総合体育大会 (ミニ国体) (8月23~25日 米沢市営体育館)</p> <p>少年女子 第3位 宮城県チーム (土谷智恵理出場)</p> <p>第68回国民体育大会 (10月4~5日 台東リバーサイドスポーツセンター体育館)</p> <p>少年女子 2回戦進出 宮城県チーム(土谷智恵理・川元美咲出場)</p> <p>2013年度第2回全国サーブルチャレンジカップ団体戦 (10月13~14日 グランディ21)</p> <p>男子 第4位 (佐々木隆紘・星優平・櫻井慎也・坂野真瑚)</p> <p>女子 第1位 (土谷智恵理・手代木さつき・宮本真緒)</p> <p>平成25年度仙台市民総合体育大会フェンシング競技 (10月19~20日 広瀬体育館)</p> <p>男子個人フルール シニア 第1位 酒井皓平 第3位 新田能隆</p> <p>男子団体フルール 第1位 仙台二高Bチーム (酒井皓平・新田能隆・伊藤圭吾・坂野真瑚・菅 颯輝) 第2位 仙台二高Aチーム (原田 海・櫻井慎也・星 優平・大塚純平・村上 瑠)</p> <p>女子個人フルール シニア 第1位 土谷智恵理 第3位 川元美咲</p> <p>女子個人フルール ジュニア 第2位 工藤うみ</p> <p>女子団体フルール 第1位 仙台二高Aチーム (川元美咲・土谷智恵理・阿部 愛・工藤うみ・小野寺晴香)</p>	柔 道 部	<p>第26回大久康杯宮城県公立高等学校柔道大会 (10月6日 宮城県武道館)</p> <p>個人戦 2年生の部 2238 山田晃誠 *ベスト16 1回戦 菊地 響 (伊具) 1本勝ち 絞め 2回戦 内海隆寿 (石巻商業) 1本負け 横四方固め</p> <p>第116回仙塩地区高等学校柔道大会 (10月19日) 団体戦 (勝ち抜き) (仙台二・仙台三・松島高校・塩釜高校合同チーム) 1回戦 対東北学院 次峰 山田 (仙台二) 狩野真吾 1本勝ち (背負投・袈裟固め) 同 佐竹正成 引き分け</p> <p>個人戦 60kg級 菅原優介 1回戦敗退 赤間瑞輝(仙台工業) 81kg級 山田晃誠 1回戦敗退 阿部 凌 (東北)</p> <p>第63回宮城県高等学校新人大会 兼 第36回全国高等学校柔道選手権大会宮城県1次予選大会 (11月2日~4日 県武道館)</p> <p>個人戦 60kg級 菅原優介 1回戦敗退 及川翔太(石巻工業) 1本背負い 81kg級 山田晃誠 1回戦敗退 渡部竜弥(巨理) GS(有効) 体落</p> <p>定期戦等</p> <p>第119回仙台二高一高定期戦 (5月18日) 3人勝抜戦 先鋒 菅原優介 1本負け 大将 山田晃誠 引き分け * 2人残し負け</p>
		剣 道 部	<p>総合体育大会等</p> <p>県高校総体 (6月1~3日 青葉体育館)</p> <p>男子団体 * 敗退 * ベスト16 予選リーグ 対仙台三桜2 - 1 対大河原商4 - 0 予選リーグ1位 決勝トーナメント 1回戦 シード 2回戦 対仙台育英0 - 3</p> <p>女子団体 * 予選リーグ敗退 予選リーグ 对小牛田農林0 - 5 対仙台二華0 - 2</p> <p>男子個人戦 奥口大充 4回戦敗退 齋藤和哉 3回戦敗退</p> <p>女子個人戦 石黒想子 1回戦敗退 小松美凜 2回戦敗退</p> <p>新人大会・選手権等</p> <p>国体予選会 (7月13日 塩釜ガス体育館)</p> <p>男子個人 中居捷俊 3回戦敗退 齋藤和哉 2回戦敗退</p> <p>女子個人 石黒想子 3回戦敗退 小松美凜 1回戦敗退</p> <p>仙塩支部高校剣道新人大会 (8月25日 青葉体育館)</p> <p>男子団体 1回戦 対学院榴ヶ岡1 - 0 2回戦 対仙台三桜2 - 1 準々決勝 対仙台0 - 1 敗退</p> <p>宮城県高校新人大会 (11月8~10日 田尻総合体育館)</p> <p>男子団体 * 第3位 * 東北選抜大会出場 予選リーグ 対志津川1 - 0 対柴田農林5 - 0 予選リーグ1位 決勝トーナメント 1回戦 シード 2回戦 対仙台0 - 0 代表戦勝ち 準々決勝 対仙台三2 - 0 準決勝 对小牛田農林0 - 3 敗退</p> <p>女子団体 * 予選リーグ敗退 予選リーグ 対生文大高1 - 2 対仙台三桜1 - 4</p> <p>男子個人 中居捷俊 2回戦敗退 齋藤和哉 5回戦敗退 * ベスト16</p> <p>女子個人 石黒想子 3回戦敗退 小松美凜 2回戦敗退</p> <p>東北選抜高校剣道大会 (2月8日 山形県スポーツセンター)</p> <p>男子 予選リーグ 対秋田南0 - 1 対学法石川1 - 2 予選敗退</p>
		フ ェ ン シ ン グ 部	<p>総合体育大会等</p> <p>平成25年度第62回宮城県高等学校総合体育大会フェンシング 競技 (5月31日~6月3日 気仙沼市総合体育館)</p> <p>男子個人エペ 第1位 孫 祖文 (東北大会・インターハイ出場) 第4位 大塚純平</p>

部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)	部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)
ヨ ッ ト 部	優勝 *東北大会出場権獲得 男子 FJ 級デュエット競技 第 3 位 東北大会 (青森県むつ市) 男子 FJ 級ソロ競技 1770 艇 (山田和益・秋山雄飛) 第 10 位 男子 FJ 級デュエット競技 第 8 位 国体予選 少年男子セーリングスピリッツ級 山田和益 秋山雄飛組 第 2 位 少年男子シーホッパー級 SR 山田和益 第 1 位 *東京国体出場権獲得 少年女子シーホッパー級 SR 大庭彩花 第 2 位 新人大会・選手権等 第68回国民体育大会セーリング競技 (東京都江東区) 少年男子シーホッパー級 SR 山田和益 第 24 位 宮城県新人大会 (七ヶ浜町小浜港) 男子 FJ 級ソロ競技 1503 艇 (山田和益・秋山雄飛) 優勝	第 2 位 仙台二高 B チーム (澁谷菜由・手代木さつき・宮本真緒・佐藤杏瑠茉・後藤彩希) 平成25年度宮城県高等学校新人大会フェンシング競技 個人対抗フルール 男子 第 5 位 酒井皓平 女子 第 2 位 土谷智恵理 第 7 位 川元美咲 学校対抗フルール 男子 第 3 位 (大塚純平・酒井皓平・櫻井慎也・原田 海・星 優平) 1 回戦 V-0 (仙台城南高) 2 回戦 0-V (仙台一高) 順位決定戦 V-4 (仙台高) 女子 第 3 位 (川元美咲・澁谷菜由・土谷智恵理・手代木さつき・宮本真緒) 2 回戦 2-V (仙台三高) 順位決定戦 3-V (気仙沼高)	
そ の 他 自 転 車 競 技	総合体育大会等 県高校総体兼春季県高校自転車選手権大会 スプリント 中井 琢 第 1 位 ケイリン 中井 琢 第 2 位 スクラッチ 中井 琢 第 2 位 1km タイムトライアル 中井 琢 第 3 位	総合体育大会等 県高校総体 男子 第 3 位 女子 第 4 位 新人大会・選手権等 県新人大会 男子 第 7 位 女子 第 3 位	
		ヨ ッ ト 部	総合体育大会等 宮城県高校総体 (七ヶ浜町小浜港) 男子 FJ 級ソロ競技 1770 艇 (山田和益・秋山雄飛)

部活動の記録 / 学芸部成績

部 名	成 績
化 学 部	第20全国高等学校デザイン選手権大会 8 作品 出品 (一次通過 6 作品) 英国ケンブリッジサイエンスワークショップ 参加者 岩淵祥麿 Googleサイエンスフェアin東北 2013 出展 4 作品出品 「低圧下における放電による化学反応の検討」 福地成彦、丹野翔大 「あじさいで発電!？」 中山美慧 「酸化還元反応を利用した空気中の酸素の吸収」 鍋島英秀、本田一紗、安田佐梨 「有機溶媒との界面で析出する金属葉の生成に関する考察」 岩淵祥麿 最優秀賞 (アンバサダー賞) オーディエンス賞 「あじさいで発電!？」 中山美慧 全国高校化学グランプリ2013 (全国大会入賞) 銀賞 大瀬戸恒志 第10回 高校化学グランドコンテスト INTERNATIONAL 「水酸化ナトリウムを用いた脱酸素剤についての研究」 小村亮平、鈴木貴之、鍋島英秀 「有機溶媒との界面で析出する金属葉の生成に関する研究」 岩淵祥麿、福地成彦、菅原大暉 「アジサイの不思議 Part4」 中山美慧 ポスター賞・シュプリング賞受賞 中山美慧 第12回 全国高校性理科・科学論文大賞 「低圧下における陰極線による化学反応の検討」 福地成彦、丹野翔大 第3回 科学の甲子園宮城県大会 第 3 位 2 年 A チーム 石田悠理、井上 南、金子英人、鈴木稜平、丹野翔大、鍋島英秀、山谷悠介 第66回宮城県高等学校生徒理科研究発表会 <化学部門> 優秀賞 「納豆の保水作用・浄水作用を確かめる」 伊藤秋香理、西城未羽、鳥谷部咲良、森谷 茜 優秀賞 「BZ 反応の振動周期の変化」 金あおい 優秀賞 「過酸化銀と他の酸化物の電気的性質の相違と相似」 岩田悠希、鈴木稜平、丹野茉莉枝、渡邊結佳 優秀賞 「水酸化ナトリウムを用いた脱酸素剤についての研究」 小村亮平、鈴木貴之、鍋島英秀 優秀賞 「蛍光体に関する研究」 鈴木 光 優秀賞 「金属葉による亜鉛の生成による研究」 菅原大暉、福地成彦、佐藤邦哉、赤間翔太、齋藤嘉彦、紺野瑛介 優秀賞 「放電から炭素繊維～減圧放電を用いた化学反応～」 福地成彦、丹野翔大、金子英人 優秀賞 「過酸化銀の水中での大腸菌殺菌作用の検証と効率化にかんする研究」 石田悠理、鈴木 然、本田一紗、澤田万尋 優秀賞 「パニリンの合成」 萩原 駿、高瀬理人 優秀賞 「亜鉛、スズで作る合金とその性質」 高橋孔雄、山谷悠介、福地成彦、鈴木透馬、宮田修吾 <ポスター部門> 最優秀賞 「ペットボトルロケットを用いた物質運搬法の研究」 鈴木 然、本田一紗 第57回日本学生科学賞 宮城県審査 最優秀賞 (県知事賞) 金あおい 最優秀賞 (ミヤギテレビ賞) 森谷 茜 *以上全国大会出場 JSEC2013 ファイナリスト *全国大会進出 「塩害に強いアジサイを用いた色素増感太陽電池 ～被災地から復興へ～」 山中美慧 アジレント・テクノロジー賞 ISEF 2014 (世界大会) 派遣

部 名	成 績
物 理 部	<p>第57回日本学生科学賞 中央審査 (全国大会) 入選1等 金あおい 学都「仙台・宮城」サイエンスディ2013 「身近な物を使った物理の実験」 ソニー賞、NI LabVIEW Award、夢ある未来を共に創りま賞、応用物理学会東北支部長賞、ディーブインパクト賞受賞 英国ケンブリッジサイエンスワークショップ 参加者 一戸 倫</p>
物 理 部	<p>第37回全国高等学校総合文化祭 自然科学部門 文化連盟賞受賞 「コッククロフト・ウォルトン回路に関する研究」 一戸 倫、鈴木稜平、二木佐和子、宮田修吾、川村安由実 サイエンスフェスティバル (仙台市青葉区中央市民センター) 出展 第66回宮城県高等学校生徒理科研究発表会 優秀賞 「5円玉虫眼鏡の溶液による拡大率の違い」 川村安由実、小林彩優 優秀賞 「立体視の原理の考察と応用」 鈴木稜平、二木佐和子 優秀賞 「磁石で止まる金属ゴマ」 宮田修吾、二木佐和子 優秀賞 「ゼーベック効果に関する研究」 二木佐和子、鈴木稜平、石崎梨理 *宮城県代表に選出され、来年の全国総文祭に出場決定 優秀賞 「イスタンブールのお盆の運動によって生じる様々な現象についての考察」 小室 源、芳賀亮多、柳橋大也、高瀬理人 優秀賞 「物体を挿入することで変化する音の高低の観察と考察」 津田拓視、伊藤 峻、長南 遼</p>
生 物 部	<p>東北バイオ教育プロジェクト 株式会社リバネス 協和発酵キリン株式会社 第1回実験教室 平成25年8月6日 「バイオフィームによる河川の水質浄化研究」 ※広瀬川の川石に付着したバイオフィームからDNAの抽出・増幅・確認実験を行った。 第2回実験教室 平成25年11月2日 講演 東北大学農学部大学院 中井裕教授 「バイオフィームによる河川の水質浄化研究」 ※広瀬川の川石及び、硝化細菌培養水槽のバイオフィームから抽出したDNAをDGGEで単離、同定の方法・論文の書き方について学んだ。 第66回宮城県高等学校 生徒理科研究発表会 優秀賞 「バイオフィームのPCRによるDNA解析」 優秀賞 「淡水における硝化作用の実験」 2539 安室健太 2518 佐藤元太 2705 内海聡太 2718 杉田直紀 1621 高山ほの香 1740 山田春樹</p>
囲 碁 部	<p>2013 第7回全国選抜囲碁選抜大会 (3月23~24日) 団体 (東北代表) * 14位 千田渉太、今野律人、牧野 泰 九路盤大会 千田渉太 全国第5位 第37回全国高校総合文化祭囲碁部門 (県代表決定戦 4月14日 仙台二高) 宮城県代表 主将:今野律人 (2年) 副将:千田渉太 (2年) 第37回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権宮城県大会 (6月26日 仙台三高) 団体 2位 仙台二高 伊藤佳樹 (1年)、千田渉太 (2年)、今野律人 (2年) 第37回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権宮城県大会 個人代表決定戦 (6月26日 仙台二高北陵館) 猪股直透 (1年) * 全国大会出場 (第二代表) 第37回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権大会 (7月23~25日 日本棋院) 宮城県個人代表 猪股直透 予選リーグ1勝2敗 第37回全国高等学校総合文化祭囲碁部門 (8月3~5日 長崎県時津町) 団体戦 * 全国18位 主将:今野律人 (六段) 副将:千田渉太 (六段) 第34回世界アマチュア囲碁選手権戦 東北地区学生交流大会 (大学生及び高校生対象 9月3日 アエル) A組 優 勝 千田渉太 準優勝 伊藤佳樹 B組 優 勝 牧野 泰 第50回学生十傑戦東北大会 (10月12~13日 北上市 大学生大学院生中心の大会) 3位 今野律人 * 全国大会出場 5位 千田渉太、10位 猪股直透、11位 伊藤佳樹、20位 牧野 泰 第14回宮城県高校囲碁九路盤大会 (10月18日 県民会館) 1位 伊藤佳樹、3位 猪股直透、4位 今野律人、6位 牧野 泰、8位 千田渉太、10位 鈴木 光 第27回東北地区高等学校囲碁選手権大会 (11月8~9日 福島県飯坂温泉) 男子 * 団体優勝 (宮城県代表チーム5勝0敗) 主将:猪股直透、副将:伊藤佳樹、三将:千田渉太 男子 主将戦 第2位 猪股直透 副将戦 第1位 伊藤佳樹 三将戦 第1位 千田渉太 * 以上、団体及び個人戦で上記3名が3月全国選抜大会に出場決定 第50回学生十傑戦全国大会 1回戦敗退 今野律人 第31回宮城県高校囲碁新人大会 A組 優 勝 牧野 泰 2014 第8回全国囲碁選抜大会 (3月20日~23日) 男子 団体戦 第5位 伊藤佳樹、千田渉太、猪股直透 男子 九路盤戦 第5位 千田渉太 〃 第8位 伊藤佳樹</p>
地 学 部	<p>第37回全国高等学校総合文化祭 2013長崎しおかぜ総文祭 自然科学部門出場 発表演題 「太古の利府の海 ~三畳紀利府層における南部北上山地の古環境についての研究~」 菅原 大、後藤さくら</p>
吹 奏 楽 部	<p>第26回定期演奏会 (6月23日 東北大学100周年記念講堂 「萩ホール」) 全日本吹奏楽コンクール第56回宮城県大会予選仙台青葉・泉地区大会 (7月20日 仙台市民会館) 高等学校の部 金賞代表 全日本吹奏楽コンクール第56回宮城県大会 (8月1日 イズミティ21) 高等学校の部 銀賞 (8位) アンサンブルコンテスト仙台青葉地区大会 (12月8日 広瀬文化センター) クラリネット8重奏 金賞代表 サクソ4重奏 金賞代表</p>

9/9	8/3	8/20	8/15	8/11	7/23	7/21	7/2	6/26	6/19	6/4	6/2	5/23	5/25	5/23	5/15	5/15	5/10	5/1	4/29	4/19	3/25	3/24	3/20	3/10	3/5	2/3	1/	1/25	1/21	1/10	1/7	1/6	平成25年	
遊佐	庄子	佐藤	正木	清水	門屋	関	千葉	只野	阿部	菊地	林田	近江	小林	小西	早坂	西丸	岩田	橋本	佐藤	鹿野	九嶋	氏家	齊藤	加藤	中目	大坂	津田	庄司	秋月	山田	鈴木	加藤	鈴木	名取
廣一殿	正志殿	孝造殿	繁次殿	信義殿	英二殿	康也殿	一夫殿	喜男殿	邦夫殿	茂吉殿	紘一殿	吾郎殿	順治殿	隆雄殿	幸雄殿	瑛一殿	宏夫殿	哲哉殿	新一殿	敏彦殿	恒殿	辰郎殿	孝次殿	弘殿	正彦殿	讓治殿	光博殿	舜一殿	東士郎殿	清隆殿	政樹殿	達夫殿		
中33回	高22回	中44回	高2回	中45回	中44回	高1回	高8回	高11回	高9回	中43回	高11回	中43回	高15回	高4回	高4回	高11回	高6回	中46回	高16回	中38回	高9回	中33回	中37回	高2回	高5回	中41回	高22回	高10回	中37回	中42回	高3回	高35回	中40回	

小林 裕介	▼転出された先生方	死亡日不明	5/19	4/25	4/23	4/16	4/14	4/9	4/8	4/1	3/18	2/23	2/8	1/27	1/18	1/9	1/9	1/1	平成26年	12/22	12/10	12/4	12/1	11/20	11/12	11/12	11/10	10/14	10/14	9/28	9/12
裕介	▲	不明	平野	工藤(見)行夫殿	小野	千葉	白鳥	加藤	芳賀	富澤	今野	鈴木	日下	曾根	村井	渡邊	及川	佐々木	平	白土	中村	鈴木	加藤	小島	横尾	主藤	近藤	小川	津田	會場	後藤
教頭			兼次殿	(見)行夫殿	綱彦殿	修一殿	憲治殿	正悦殿	孝夫殿	光典殿	満志殿	幸作殿	知一殿	康元殿	勝雄殿	満男殿	禎一殿	質郎殿	統雄殿	善次郎殿	忠夫殿	清一殿	清一殿	道比古殿	一正殿	武夫殿	教之殿	不二雄殿	猛殿	弘殿	
(本土巨響高校 校長)			高33回	高11回	高7回	高4回	高18回	高4回	高8回	中46回	高5回	高18回	高5回	中35回	高11回	高3回	高1回	中47回	高22回	高2回	高4回	中41回	高11回	高18回	高3回	高10回	中44回	中39回	中42回	高7回	

浅沼 謙一	二瓶 拓哉	遠藤 厚志	手代木章宏	鈴木 利明	阿部 文男	▼転入された先生方	佐藤 伸	倉片 彩	高川 瑞生	三好 直哉	小林 孝長	黒澤 幸治	麦谷 直久	佐々木慎志	西澤 強	菅原 淳	木村 篤史
教諭(保体)	教諭(国語)	教諭(英語)	教諭(地・公)	教諭(英語)	教頭(数学)	▲	技師(利府高校)	非常勤講師(音楽)	講師(数学)	講師(理科)	教諭(数学)	教諭(英語)	教諭(数学)	教諭(地・公)	教諭(保体)	教諭(英語)	教諭(国語)
(泉館山高校)	(角田高校)	(仙台向山高校)	(宮城一高)	(白石高校)	(気仙沼高校)		(利府高校)	(音津中へ)	(仙台二高へ)	(中新田高校へ)	(気仙沼高校)	(仙台東高校)	(城南高校)	(気仙沼支援学校)	(仙台三桜高校)	(塩釜高校)	(古川黎明高校)

仙台二高同窓会メーリングリストの利用について

同窓会では、会員が相互に情報交換を行うために、メーリングリスト機能を利用していましたが、5月より「Yahoo」から「Google」に移行しました。

利用して頂くには、事前の登録が必要になります。詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

<https://sites.google.com/site/sendai2dousoukai/>

なお、「Yahoo」をご利用されていた方も、改めて「Google」での登録を行って下さい。

二高への交通の便く仙台駅前から

▶仙台市営バス・・・仙台駅前バスプール16番から730、739系統『二高・県美術館前』下車、運賃180円

▶仙台市営市内観光循環バス『るーぶるの仙台』・・・仙台駅前バスプール15-3番、運賃(1回券)260円、(1日券)620円。(但し、瑞鳳殿、大橋、青葉山、八幡神社等とを大きく経由しています。)

定 百合子	木村 剛	高川 瑞生	富盛 涉	大友 志穂	千葉 浩一	森 功	三浦 哲雄	小林 俊夫	▼昇任された先生方	高橋 英勝	大岩 昌弘	鎌田麻里子	▼退職された先生方	佐竹 正彦
教諭(数学)	教諭(数学)	教諭(数学)	講師(数学)	非常勤講師(音楽)	事務部長	主任技師	技師(再任用)	キャリアアドバイザー	▲	主幹教諭(英語)	総括主幹(事務次長)	主査	▲	主幹教諭(数学)
(城南高校)	(公私間交流)	(泉館山高校)	(新規採用)	(新規任用)	(新規任用)	(古川黎明中高校)	(仙台二華中高校)			(英語)	(事務次長)			(定年)

編集後記

本編でも紹介していますが、山形支部や北陵ドクター倶楽部などの、設立準備が進んでいます。支部を立ち上げる際には、同窓会でもバックアップしていますので、支部空白地域にお住まいの方は、同窓会までお気軽にご相談下さい。

今号では支部や同期会、クラブOB会からの原稿が多く寄せられ、活発に活動している様子が感じられます。会報も、盛りだくさんの内容となっており、「同窓会活性化」の成果を実感できます。

関 裕介(高38回)

長谷川宏敏 事務部長(定年)
三浦 哲雄 主任技師(定年)